

無線通信研究委員会

WP 6A

(ジュネーブ)

報告書

(暫定案)

平成 25 年 11 月 12 日 ~ 平成 25 年 11 月 20 日

目次

1. まえがき.....	1
2. 会議の概要.....	5
2.1 会議の構成.....	5
2.2 主要結論.....	5
(1) 地上送信.....	5
(2) 保護.....	8
(3) 共用.....	9
(4) その他.....	11
3. 審議の内容.....	12
3.1 地上送信(SWG 6A-1).....	12
3.2 保護(SWG 6A-2).....	26
3.3 共用(SWG 6A-3).....	31
3.4 その他(SWG 6A-4).....	34
4. ワークショップ「EMERGENCY BROADCASTING」.....	36
5. あとがき.....	37
表 1 日本からの出席者 (7 名).....	39
表 2 入力文書 (全 109 件).....	39
表 3 出力文書一覧(全 37 件).....	48

1. まえがき

国際電気通信連合無線通信部門(ITU-R)第6研究委員会(SG 6:放送業務)の作業部会WP6A(地上放送)会合が下記のとおり開催された。

開催日 : 2013年11月12日～11月20日(9日間)
11月21日(ワークショップ)
開催地・会場 : ITU本部(スイス・ジュネーブ)
議長 : L. OLSON氏(米)
副議長 : R. BUNCH氏(豪)、M. HATE氏(英)、
A.H. NAFEZ氏(イラン)、L. ROCCHI氏(伊)、
J. SONG氏(中国)
登録者 : 44ヶ国+17機関から108名(事務局除く)
日本より7名登録(7名出席、表1参照)
入力文書 : 109件(表2参照)
出力文書 : 37件(表3参照)

SG6に提出:8件

新勧告案 : 1件

(1) ITU-R BT.[ETMMPLAN]「VHF/UHF帯における携帯受信機を用いた移動受信向け地上マルチメディア放送のプランニング基準」(6A/TEMP/141)

勧告改訂案 : 2件

- (1) ITU-R BT.1368「地上デジタルテレビジョンサービスの混信保護比を含むプランニング基準」(6A/TEMP/140)
- (2) ITU-R BT.1735「勧告ITU-R BT.1306で規定された地上デジタルテレビジョン放送システムBの放送信号の受信品質の客観的評価方法」(6A/TEMP/119)

新レポート案 : 3件

- (1) ITU-R BT.[DTB]「地上デジタル放送システム」(6A/TEMP/127)
- (2) ITU-R BT.[ISDB-T_RELAY]「ISDB-Tにおける中継局ネットワーク構築」(6A/TEMP/121)
- (3) ITU-R BT.[ASSESS_EXAMPLE]「既存の共同受信システムのヘッドアンプへのIMTの影響に起因する放送業務への干渉評価における勧告BT.1895と関連するレポートBT.2265の適用例」(6A/TEMP/143)

レポート改訂案 : 2件

- (1) ITU-R BT.2254 「DVB-T2 の周波数およびネットワークプランニングの特徴」
(6A/TEMP/126)
- (2) ITU-R BT.2252 「システムAおよびBの地上デジタルテレビジョン放送信号のカバーエリアの客観評価」 (6A/TEMP/120)

リエゾン文書：10件

- (1) JTG4-5-6-7 へのリエゾン文書「WRC-15 議題 1.1 に関する放送とIMTとの共用検討のための地上TV放送の技術運用特性」 (6A/TEMP/128)
- (2) WP6Bへのリエゾン文書「全世界的な放送ローミング用受信機の主要機能に関する新勧告草案の準備」 (6A/TEMP/115)
- (3) ITU-T JCA-AHFへ、JCA-AHFの活動に関するリエゾン文書」 (6A/TEMP/118)
- (4) ITU-R WP1Bへのリエゾン文書「新レポート草案 ITU-R BT.[CRS_BS_BANDS]」
(6A/TEMP/144)
- (5) ITU-R WP1A、ITU-T SG5、9 へ (ITU-R WP5A,B,Cへコピー) のリエゾン文書「ITU-T勧告 J.195.1 (J.HINOC-REQ) を考慮した有線と無線通信の共存について」 (6A/TEMP/145)
- (6) CCV、ITU-R WP1Bへのリエゾン文書「ホワイトスペースと関連用語の定義」
(6A/TEMP/147)
- (7) ITU-R WP1A、ITU-T SG-15 へ (ITU-R WP5A,B,Cへは情報としてコピー) のリエゾン文書「新勧告 G.Fastのもとで検討されている有線通信」
(6A/TEMP/148)
- (8) SG6 へのリエゾン文書「無線通信局長とRAGへの“人的・自然災害時の放送の役割”」 (6A/TEMP/117)
- (9) JTG4-5-6-7 へのリエゾン文書「第 1 地域とイランにおける 694-790MHzの地上放送のための周波数要求」 (6A/TEMP/131)
- (10) WP7Bへのリエゾン返書「ナノサット／ピコサットの特性と周波数要求」
(6A/TEMP/137)

継続審議：17件

勧告改訂草案：4件

- (1) 勧告ITU-R BT.[ETMMPLAN] 「VHF/UHF帯における携帯受信機を用いた移動受信向け地上マルチメディア放送のプランニング基準」 (6A/TEMP/139)
- (2) 勧告BT.1306 「地上デジタル放送の誤り訂正、データフレーム、変調、送信方法」 (6A/TEMP/122)
- (3) ITU-R勧告BT.1206-1 「地上デジタルテレビジョン放送のスペクトル制限マスク」
(6A/TEMP/124)

- (4) 勧告ITU-R BT.1871 改訂草案「ワイヤレスマイクのユーザー要求条件」
(6A/TEMP/133)

新レポート草案：3件

- (1) ITU-R BT.[INTERFERENCEDESCRIPTION]「地上デジタルTV受信機への一般的な干渉」 (6A/TEMP/129)
- (2) 新レポート草案 ITU-R BT.[ACTIVE DEVICE MODEL]「既存の共同受信システムのヘッドアンプへのIMTの影響に起因する放送業務への干渉評価における勧告BT.1895と関連するレポートBT.2265の適用例」 (6A/TEMP/146)
- (3) 新レポート草案「非常時の情報提供における地上放送の重要性」
(6A/TEMP/116)

レポート改訂草案：1件

- (1) レポートITU-R BT.2265 改定草案「放送業務への妨害に対する評価ガイドライン」 (6A/TEMP/134)

作業計画：1件

- (1) WRC-12 決議・勧告に関連する検討の作業計画更新 (6A/TEMP/138)

リエゾン文書：1件

- (1) 「帯域外輻射を規定する勧告 ITU-R SM.1541-5」 (6A/TEMP/150)

ラポータ／ラポータグループ設置：1件

- (1) 「SFNの設計と実装」に関するラポータグループの設置 (6A/TEMP/125)

作業文書：6件

- (1) 新レポート草案ITU-R BS.[DSB-TRANSITION]「デジタル地上音声放送とマルチメディア放送への移行に関する実施検討」にむけた作業文書 (6A/TEMP/142)
- (2) 勧告ITU-R BT.2215 改訂草案「TV受信機の混信保護比と過入力閾値レベルの測定」にむけた作業文書 (6A/TEMP/130)
- (3) 新勧告草案ITU-R BT.[R-WBR]「全世界的な放送ローミング用受信機の主要機能」に向けた作業文書 (6A/TEMP/123)
- (4) 新レポート草案ITU-R BT.[CRS_BS_BANDS]「地上放送の周波数帯へのCRSの導入に関連した共用検討と国内検討事例」に向けた作業文書 (6A/TEMP/151)
- (5) 新レポート草案 ITU-R BT.[DTTBSPREQ]「第1地域とイランにおける694-790MHzの地上放送のための周波数要求」に向けた作業文書

(6A/TEMP/132)

(6) 新レポート草案[FIELD_REPORTS_IMT]に向けた作業文書 (6A/TEMP/136)

その他：2件

(1) 議長レポート文書「BT.2247 やBT.2265 の改訂に向けた重要な情報」

(6A/TEMP/135)

(2) 議長レポート文書「デジタル放送の品質基準に関するJTG4-5-6-7 へのリエゾン
文書案の審議内容」 (6A/TEMP/149)

2. 会議の概要

2.1 会議の構成

以下の4つのサブ・ワーキング・グループ(SWG)構成で審議にあたった。

SWG 6A-1	地上送信	議長：A. Nafez氏（イラン）
SWG 6A-2	保護	議長：M. Hate氏（英）
SWG 6A-3	共用	議長：R. Bunch氏（豪）
SWG 6A-4	その他	議長：M. Mullinix氏（米）

2.2 主要結論

(1) 地上送信

- ・新勧告案ITU-R BT.[ETMMPLAN] 「VHF/UHF帯における携帯受信機を用いた移動受信向け地上マルチメディア放送のプランニング基準」

前回会合で、日本（ISDB-Tマルチメディア）と韓国（T-DMB/AT-DMB）の入力文書に基づき作成された地上マルチメディア放送のプランニング基準の新勧告草案が議長レポート添付とされていた。

露は、DVB-T2 Liteに関するプランニング基準を、一部の伝送パラメータ（16QAM、64QAM、256QAMの符号化率 1/3,2/5）における混信保護比がTBDとなっている状態で、今回初めて提案した。日本は、ISDB-Tマルチメディア放送に関し、受信機の過入力レベルの閾値と隣接チャンネル妨害波排除能力の値、隣接混信保護比の値を提案した。韓国（6A/326）は、T-DMB/AT-DMBに関し、標準受信機特性の追加と、前回提案したチャンネル間隔毎の隣接混信保護比を示す表を付属に移動する提案を行った。

日本と韓国が本会合での勧告化を主張した結果、ISDB-TマルチメディアとT-DMB/AT-DMBの2方式の新勧告案をSG6に送付することになった。また、DVB-T2 Liteの追加提案は更なる精査が必要なため、議長レポート添付とし、次会合で審議することになった。

- ・勧告改訂案ITU-R BT.1368 「地上デジタルテレビジョンサービスの混信保護比を含むプランニング基準」

前回会合で日本が提案し承認されたISDB-T 6MHzシステムの隣接混信保護比の値を修正する勧告改訂草案が、2012年秋の会合で改訂されたばかりであることから議長レポート添付となっていた。

日本は、2013年7月JTG4-5-6-7に提出したISDB-TとLTEの混信保護比を入力することと、2013年2月に第一地域の国がISDB-Tを採用したことを受け、脚注7の“ISDB-Tは日本、ブラジルなどGE06合意の主管庁以外で採用されている”という記述を削除することを提案した。

日本からの提案は、特段の異論なく合意され、前会合で日本が提案したISDB-

Tの隣接チャンネル混信保護比の修正を含む勧告改訂案がSG6 に送付されることとなった。

- ・ 勧告改訂草案ITU-R BT.1306「地上デジタル放送の誤り訂正、データフレーム、変調、送信方法」

前回会合で、日本が提案したBT.1306 に記載のパラメータ表の内チャンネル占有率に関する記載に関してスペクトルマスクを規定した 2 つの勧告 (SM.1541 とBT.1206) を参照する改訂草案が、SWG議長と中国からの指摘で複数のマスク勧告の参照は誤解を招くとして議長レポート添付となっていた。

日本は、議長レポート添付の内容は基本的にはそのままを支持し、誤解を招かないために 2 つのマスク勧告の補足説明を追加することを提案した。

一方中国は、新しいDTTBシステムDTMB-AをBT.1306 に追加することを提案した。

日本提案の改訂内容については、特に異論なく合意が得られた。日本は本会合での改訂を望んだが、SWG議長から中国のDTMB 6MHz、7MHzシステムのマスクを追加するBT.1206 改訂提案が本会合に提出されたばかりのため、日本提案によるBT.1306 の改訂を本会合で行う場合は、BT.1306 のDTMBにおけるBT.1206 への参照を削除することになると説明があった。本寄書は、BT.1206 への参照を削除されることを望まない中国と事前調整のもと作成したため、BT.1306 の改訂はBT.1206 の改訂と同時に行うことで日本も了承した。

中国提案について、露は第 1 世代なのか、第 2 世代なのかを再度検討すべきである、Annex5 の文献の内容が不十分であると指摘した。日本は提案システムのパフォーマンスがDVB-T2 に近いため第 2 世代としてBT.1877 に記載するのが適当とコメントした。また、勧告BT.1306 にMulti Carrier systemが 2 つあるという質問に対して、中国は名称をTime-domain synchronized multi-carrier system or TDS と変更した。

議論の結果、勧告改定草案として議長レポート添付されることとなり、中国が次回会合までに、第 1 世代のシステムとして勧告BT.1306 に規定するのか、第 2 世代のシステムとして勧告BT.1877 で規定するのかを再度検討すること、また、文献の内容などの充実を図ることとなった。

- ・ 新レポート案ITU-R BT.[DTB]「地上デジタル放送システム」

前回会合で、音声・テレビジョン・マルチメディア等の地上デジタル放送システムを 1 つの文書に併記する新レポート草案に向けた作業文書が、システムの比較表の空欄を埋めるなど更なる協力を依頼する形で議長レポート添付となっていた。

レバノンは、新レポートに地上デジタル放送システムとして多チャンネル映像配信システム（MVDS）を載せることを提案した。MVDSは 10GHz以上の周波数帯（欧州では 40GHz帯）を使うDVBベースのシステムであり、40MHz帯域幅で 36～50Mbpsの伝送を行うことができるとしている。CBSは、前会合で、勧告ITU-R BT.2036「地上デジタルテレビジョン放送の周波数プランニング用標準受信機システムの特性」が勧告化された為、地上デジタルテレビジョン放送の標準受信機特性として勧告BT.2036を参照する旨の内容を、新レポートに追記することを提案した。ラポータグループは、FLOシステムの削除など各システムの特徴を示した表の修正・加筆、その他エディトリアルな修正を提案した。

MVDSに関するITU-Rのシステム勧告などがなかったため、まずはMVDSを説明する新レポート草案を作成し、その後にBT.[DTB]への追加を検討することになった。結果、CBS、ラポータグループの提案のみを承認し、新レポート案としてSG6に送付することとなった。

- ・新レポート案ITU-R BT.[ISDB-T_RELAY]「ISDB-Tにおける中継局ネットワーク構築」

ISDB-Tの中継方式やSFNの遅延時間の調整など、デジタル中継局のネットワーク構築に関して、日本の経験をまとめることを目指すレポートである。前回会合までに日本が入力した「概要」、「ネットワーク構築に必要な回線設計法」、「中継回線の品質評価手法」、「ISDB-Tのネットワーク構築にて考慮が必要な干渉（アナログTV放送波からの干渉、デジタル放送波からの干渉、SFN回り込み干渉など）」、「各干渉に対する補償技術（アンテナダイバーシチ、回り込みキャンセラなど）」を記載した新レポート草案に向けた作業文書が議長レポート添付されていた。

日本はブラジルと共同で、衛星や光ファイバーによる放送所への番組伝送方式を追加した新レポート草案を提案した。新レポート草案は承認され、新レポート案としてSG6に送付されることとなった。

- ・「全世界的な放送ローミング受信機の主要機能」を検討するラポータグループの設立

新勧告草案ITU-R BT.[R-WBR]「全世界的な放送ローミング用受信機の主要機能」に向けた作業文書をラポータグループで作成し、次会合で報告することになった。

- ・「SFNの設計と実装」に関するラポータグループの設置

前回会合で、伊がSFNの設計と実装に関するラポータグループ（RG）の設立

を提案したが、RGのルールが必要であるとのことで継続審議となっていた。

伊は、今回のRai Wayによる広範囲なSFNを設計、実装、最適化する際に直面した課題とその課題の解決方法を記載した寄書が、新レポートとして広く活用されることがITU-Rメンバーにとって有益であると説明した。そして、世界中の様々な事例をまとめて新レポートを作成するためのRGの設立を提案した。

各国からのSFN構築事例やメーカーからの受信機のSFN対応機能に関する情報を収集し、新レポートを作成することをToRに記載し、RGの設立が承認された。RG議長はRai WayのMr. Aldo Scotti氏となり、次回会合で新レポート草案に向けた作業文書を報告することとなった。

- ・ 将来のための周波数要求

将来の放送技術の挑戦のための必要な周波数を見積もるために設立されたRGから、将来の放送業務のための周波数要求、ならびに関連した既存の勧告やレポートを更新することを求め、これらを 2014 年秋期のSG6 会合で報告する旨の寄書が提出された。

SG6 副議長（Bunch氏）は、このSG6 のラポーターグループは、WP6CにはUHDTV、WP6Bにはコーデックパフォーマンス、WP6Aには周波数要求についての情報の提供を求めていると説明した。

議長レポートにこの寄与があったことを記載し、次回会合に寄与を求めるのが適当として了承された。

(2) 保護

- ・ 新レポート案 ITU-R BT.[ASSESS_EXAMPLE]「既存の共同受信システムのヘッドアンプへのIMTの影響に起因する放送業務への干渉評価における勧告BT.1895と関連するレポートBT.2265 の適用例」

前回会合で、RaiとRai Wayは、勧告BT.1895 による地デジの保護基準とレポートBT.2265 に干渉評価手法として記載されているモンテカルロ法を用いた調査により、分配用広帯域アンプで発生する 3 次歪の影響を含むLTEによる干渉を評価した結果を報告し、議長レポートに添付されていた。今会合、他に寄書がなかったため特段の議論なく承認され、SG6 へ送付されることとなった。

- ・ 新レポート草案ITU-R BT.[CRS_BS_BANDS]「地上放送の周波数帯へのCRSの導入に関連した共用検討と国内検討事例」に向けた作業文書

2012 年 4 月会合に露から入力されたDVB-TとCRSに関する新レポート草案と、2013 年 4 月会合でCBSより入力されたATSCについての検討結果が含まれている。これに対し、米と加は、DTV保護基準をI/N=-10dBに緩和することを提

案した。さらにレポート構成変更も議論となり、レポート本文に、放送保護基準の記載、Annexに国毎の利用状況を記載することとなり、Annexは空欄のまま作業文書として議長レポートに添付されることとなった。

・ CCVとWP1Bへのリエゾン文書「ホワイトスペースの定義」

Opportunistic radio systems、Ad hoc radio systems、White space (spectrum)、TV white spaceの4つの用語について、それぞれのWPが独自の解釈で研究を進めることに懸念があるので定義するようCCVとWP1Bに要請するリエゾン文書を作成し承認された。

・ リエゾン文書草案 「帯域外輻射を規定する勧告 ITU-R SM.1541-5」

勧告ITU-R SM.1541 Annex10 のland mobile radio serviceのマスクが古いので、IMT、LTEを含む新しい情報に更新する必要があることを他のWPに注意喚起すべきとの意見が出された。また、多くの放送業務の帯域外マスク、放送業務の隣接帯域のマスクもなく、次回のSG1 会合は、次回WP6A会合の後なので、議長レポート添付として次回会合に情報を求める事となった。

・ リエゾン文書案 「新勧告ITU-T G.Fastのもとで検討されている有線通信」

PLTに関する議論がITU-T、ITU-Rで進んでいる中で、WP1A、ITU-T SG15にリエゾン文書を作成することとなった。その中で勧告ITU-T G.7000 の表 2.1 にある放送業務の周波数帯の記載の修正や、表 6-1 の最大干渉電力は技術的にも規制上も 4dBmとすることが好ましいと記載することとなった。リエゾン文書案は承認され、WP1A、ITU-T SG-15 に送付されることとなった（ITU-R WP5A,B,Cには情報提供）

・ ITU-R WP1A、ITU-T SG5,9 へのリエゾン文書案 「ITU-T 勧告 J.195.1 (J.HINOC-REQ) を考慮した有線と無線通信の共存について」

WP1Aが、勧告ITU-T J.HINOC-REQの無線通信への影響の懸念を表明していることを支持し、今会合でWP6Aに入力があつた、短時間のパルス干渉でも地上デジタル放送の映像破綻が深刻であることを説明し、短時間干渉でも影響が大きいことをITU-T SG5 が作成中の勧告案 ITU-T K.mhnの作成には考慮するよう要請するリエゾン文書を作成することとなった。文書案は承認され、WP1AとITU-T SG5,9 に送付されることとなった。（ITU-R WP5A,B,C,Dには情報提供）

(3) 共用

・ 新レポート草案「第 1 地域とイランにおける 694-790MHzの地上放送のための

周波数要求」に向けた作業文書

入力文書のマージとアンケート結果を追記する情報更新が行われた。アンケート未回答の主管庁に対して情報の提供を求め、アイルランド、ブルガリア、スイス、バチカンから会期中に回答があり、集計結果の更新がなされた上で、新レポート草案「第 1 地域における 694-790MHzの地上放送のための周波数要求」として議長レポート添付が承認された。また、同内容のJTG4-5-6-7 へのリエゾン文書が作成され、送付が承認された。

- ・ レポートITU-R BT.2265 改定草案「放送業務への干渉評価ガイドライン」
WP3K,3Mから複数干渉源からの影響の考慮について入力を行ったが、当該レポート制定時に留保（Reservation）を付した仏、独は、このレポート改訂は、この議論の他にも一部が解決されていないので一部だけを承認することに反対した。改訂合意が得られなかったため、議長レポート添付として更なる寄与を求める事になった。
- ・ JTG4-5-6-7 での共用・両立性検討に関して、露、CBS、NDR/ZDF、BNE、EBUから入力があり、レポートBT.2247「DTTBとIMTの両立性検討に関するフィールド測定と分析」、レポートBT.2265「放送への干渉評価ガイドラン」関連の寄与文書については、JTG4-5-6-7 に提出済みの寄与文書もあるため、JTG4-5-6-7 の検討結果を考慮して、次会合以降にBT.2247 やBT.2265 の改訂を行う際の重要な情報として取り扱うことを議長レポートに記載することになった。
- ・ 新レポート草案BT.[FIELD_REPORTS_IMT]に向けた作業文書案として、独の放送が行われているUHF帯へのIMT導入に関する事例として、隣接する 700MHz帯で運用する放送を保護する方法の報告があった。デンマークは、今後同様の入力をする予定であると発言した。対象となる周波数の表記の仕方について、LTEは放送の様々な周波数で利用される可能性があるため、具体的な周波数値（例えば 470-862MHz）を入れることは避けることとなり、議長レポート添付となった。
- ・ WP7BからのWRC-15 議題 9.1.8 「ナノサット／ピコサットの特性と周波数要求」に関して、WP6AはWP7Bに、ナノサット／ピコサットを放送帯域もしくは隣接チャンネルで運用したときに、放送に影響を与えないという確証を求めていることを伝えるリエゾン文書を送ることで合意した。

(4) その他

- ・ 前回会合で非常災害時の地上放送の重要性に関するラポータが設置され、このラポータからの寄書を含んだ新レポート草案「非常時の情報提供における地上放送の重要性」を作成した。更なる寄与を求めるとして議長レポート添付となった。
- ・ 非常災害時の地上放送の重要性について、現在レポートを作成中であること、また 11 月 21 日にワークショップを開催したことをBR事務局長とRAGに通知するためのリエゾン文書が承認された。文書はWP6Aからではなく、SG6 から送付することとしたため、文書はSG6 へ送付されることとなった。
- ・ ITU-T SG16 からのリエゾン文書の中で、JCA-AHF（Joint Coordination Activity on Audiovisual Human Factors）の設置の情報提供と合わせて積極的な参加が要請された。WP6Aとして支持することが承認され、議長がSG6 議長に支持することを報告し、SG6 として返答することとなった。

3. 審議の内容

3.1 地上送信(SWG 6A-1)

SWG 6A-1 では、音声・マルチメディア放送、技術運用特性、TV関連の 3 つのDG(ドラフティンググループ)が設置されたが、DG3 のTV関連についてはSWG 6A-1 で審議した。

SWG1 DG1	Sound and Multimedia	議長：Song氏（中国）
SWG1 DG2	Technical and operational characteristics	議長：Vieracker（NDR）
SWG1 DG3	TV issues	議長：Nafez（イラン）

7 回のSWG会合、4 回の音声・マルチメディアのDG会合、4 回の技術運用特性のDG会合で、46 件の入力文書を審議し、18 件のTEMP文書を承認した。1 件の新勧告案、2 件の新レポート案、2 件の勧告改訂案、2 件のレポート改訂案、2 件のリエゾン文書、1 件のラポーター・ラポーターグループ設置を含む 8 件の議長レポート添付文書、1 件の議長レポート記載文書を出力した。

(1) 音声・マルチメディア放送関連

○デジタル音声放送

・新レポート草案ITU-R BS.[DSB-TRANSITION]に向けた作業文書

入力文書：6A/264/Annex15（前回議長レポート）， 6A/307（露）， 6A/310（米）， 6A/312（米）， 6A/350（ラポーターグループ）

出力文書：6A/TEMP/142（議長レポート添付）

審議結果：

地上デジタル音声放送やマルチメディア放送への移行を扱う新レポートITU-R BS.[DSB-TRANSITION]「デジタル地上音声放送とマルチメディア放送への移行に関する実施検討」の審議である。

前回議長レポート（6A/170/Annex15）では、地上デジタル音声放送とマルチメディア放送への実施と移行に関する新レポート草案を作成することとし、各AnnexにDRM、HD Radio（IBOC）、DABの項目が記載されており、前回会合でのDRMに関する 3 つの寄書が反映されている。

露（6A/307）は、短波デジタルラジオの方式であるDRMを用いた単一周波数ネットワークの構築について、モスクワで行った実験結果について報告した。

米（6A/310）は、メキシコ市で行ったHD Radioの移動受信実験の結果を紹介した。DG議長からエリアを拡大するためにSFNを行うのかと質問があり、米は現時点では計画はないが、技術的には可能と回答した。また、NDRは、メキシコの周波数間隔を質問し、米は、メキシコは米と同じく 200kHzと回答した。

米（6A/312）は、HDラジオシステムの実績と概要を新レポート草案へ追加することを提案した。

デジタル音声放送に関するラポータグループ（6A/350）は、今回WP6Aに入力された3件の文書（6A/307、310、312）を前回議長レポート添付文書にマージした作業文書案を提案した。イランからフィールドテストに関する内容が多く、移行の助けにならないのではないかと懸念を示した。ラポータグループ議長はAppendixを用意しており、記載する準備はできており、目的に沿った寄書を求め、文書量が多いので情報の選別も必要になるかもしれないと述べた。

ラポータグループで寄書（6A/350）をベースにDABの特徴を追記するなど更なる改訂作業を行い、新レポート草案に向けた作業文書案として議長レポート添付（6A/142）となった。

○地上マルチメディア放送のプランニング基準

・新勧告草案ITU-R BT.[ETMMPLAN]

入力文書：6A/264/Annex2（前回議長レポート）、

6A/309（露）、6A/315（日本）、6A/326（韓国）

出力文書：6A/TEMP/141（SG6送付）、6A/TEMP/139（議長レポート添付）

審議結果：

勧告ITU-R BT.2016 に記載される各システムのプランニング基準を提供する新勧告ITU-R BT.[ETMMPLAN]「VHF/UHF帯における携帯受信機を用いた移動受信向け地上マルチメディア放送のプランニング基準」の審議である。

前回議長レポート（6A/264/Annex2）は、前会合までの日本（ISDB-Tマルチメディア）と韓国（T-DMB/AT-DMB）の入力文書に基づき作成された地上マルチメディアのプランニング基準の新勧告草案であり、本会合でその他のシステムの寄書がない場合は勧告化すると述べている。

露（6A/309）は、DVB-T2 Liteに関するプランニング基準を、一部の伝送パラメータ（16QAM、64QAM、256QAMの符号化率 1/3,2/5）における混信保護比がTBDとなっている状態で、今回初めて提案した。

日本（6A/315）は、ISDB-Tマルチメディア放送に関し、受信機の過入力レベルの閾値と隣接チャンネル妨害波排除能力の値、隣接混信保護比の値を提案した。イランが標準受信機特性のAdjacent Channel ImmunityはACSと同じで意味であるなら一般的なACSを用いた方がいいとの指摘し、日本はACSに変更した。Teracomが、第4.1章の受信位置における最小電波密度の式にアンテナゲインが含まれていないと指摘し、日本はアンテナゲインと併せてフィードロスを考慮した式に変更した。

韓国（6A/326）は、T-DMB/AT-DMBに関し、標準受信機特性の追加と、前回提案したチャンネル間隔毎の隣接混信保護比を示す表を付属に移動する提案を行った。

DG議長は、日本と韓国のAnnexはすでに十分審議が終わっているため、勧告承認手続きに移りたい希望を述べたが、DVB-T2 Liteの扱いについて関係者（日、韓、露）がオフラインで話し合って報告することとなった。日本と韓国が本会合での勧告化を主張した結果、ISDB-TマルチメディアとT-DMB/AT-DMBの2方式の新勧告案（6A/TEMP/141）をSG6に送付することになった。また、DVB-T2 Liteの追加提案は更なる精査が必要なため、議長レポート添付（6A/TEMP/139）とし、次会合で審議することになった。

○その他

・中波のための大地導電率地図に関するリエゾン文書

入力文書：6A/281(WP3L)

出力文書：なし（議長レポート記載）

審議結果：

WP3L（6A/281）は、勧告ITU-R.P.832-3「大地導電率（Ground Conductivity）の世界地図」の改訂に向け、中波放送のプランニングと周波数調整のための世界各地の大地導電率に関する意見をWP6Aに求めた。

LS Telecomは、リエゾン文書はWP6AにはFor Informationとして送られてきたので返書は不要と提案した。NDRは、WP3K、3Lは次回のWP6A以降に開催されるので、今回会合で送付する必要は無いとコメントした。WP6A議長もWP3Kの次回会合は5、6、7月とコメントし、SWG1議長もNDRを支持した。英（Shaw氏）は、レーダーなどの新技術で導電率の測定が行われている可能性があるため次回会合までに調査したいと回答した。結果、今会合ではNotedとし議長レポートに寄書があったことを記載することで合意された。

・強力な太陽嵐による通信への影響に関するリエゾン文書

入力文書：6A/285(WP3L)

出力文書：なし（情報扱い）

審議結果：

WP3L（6A/285）は、強力な太陽嵐による通信への影響が記載されたレポート「Extreme space weather: impacts on engineered systems and infrastructure（強力な宇宙嵐による機器への影響）」について注意喚起をしているリエゾン文書であり、情報としてNotedとした。

(2) 技術運用特性

○混信保護比と受信測定

・勧告改訂草案ITU-R BT.1368-10

入力文書：6A/264/Annex4（前回議長レポート），6A/231（日本）

出力文書：6A/TEMP/140（SG6 送付）

審議結果：

地上デジタルTV放送のプランニング基準勧告ITU-R BT.1368「地上デジタルテレビジョンサービスの混信保護比を含むプランニング基準」の改訂提案に関する審議である。

前回議長レポート(6A/264/Annex4)は、前会合で日本から提案され承認されたISDB-T 6MHzシステムの隣接混信保護比の値を修正する勧告改訂草案である。2012 年秋の会合で改訂されたばかりであることから、議長レポート添付となっていた。

日本(6A/231)は、2013 年 7 月JTG4-5-6-7 に提出したISDB-TとLTEの混信保護比を入力すること、2013 年 2 月に第一地域の国がISDB-Tを採用したことを受け、脚注 7 の“ISDB-Tは日本、ブラジルなどGE06 合意の主管庁以外で採用されている”という記述を削除することを提案した。

日本からの提案は、特段の異論なく合意され、前会合で日本が提案したISDB-Tの隣接チャンネル混信保護比の修正を含む勧告改訂案(6A/TEMP/140)はSG6 に送付された。

・DTT受信機へのLTE干渉

入力文書：6A/333（英），6A/349（NDR/ZDF）

出力文書：6A/TEMP/129（議長レポート添付）

審議結果：

英（6A/333）は、モンテカルロ法を用いた干渉検討に関連したDVB-T2 受信機のエラー継続のメカニズムについて報告した。5 秒ごとに 1m秒のUEリソースブロックに相当するパルス干渉を与えたときの受信機の動作について、僅かな干渉の影響が最大 2 秒間継続したとするBBCの実験結果を紹介した。

NDR/ZDF（6A/349）は、DVB-T/T2 受信機への干渉による影響の概要を述べた。RFレベルの干渉の影響として干渉源からの帯域外放射（OOBE）、受信機の隣接チャンネル選択度（ACS）を記載し、バースト的なOOBEは単純に一般化できないが、ノイズレベルより十分低い場合は無視できるとしている。連続的な干渉波の場合はAGCの動作点は適切に選ばれるため、ACSは単純にフィルタによることになる。バースト干渉波の場合は注意が必要であるが、最近の受信機はこれらにも対応している。AGCのアタックタイム（約

1ms) とリカバリータイム (約 150ms) が良く用いられている。強い干渉波が入力された場合はAGCにより過入力防止のために利得が下げられ、相対的にノイズが増加する。画像劣化について、QEFはあるレベルの干渉まではFECや時間インターリーブによって達成されるとしている。

仏は、(6A/333) で同様の実験を行っており近い結果が得られているとしたが、BBCの結果と比較するために実験条件など詳細情報を求めた。また、6A/349 につて、ベンチテストの設定について測定系にフィルタがないことから信号本体のみではなく畳み込みの影響があるのではとコメントした。

英の提案により、2 つの寄書をマージした新レポート草案ITU-R BT.[INTERFERENCEDESCRIPTION]に向けた作業文書案を作成し、議長レポート添付 (6A/TEMP/129) とした。

・LTE共用に関わる最新DVB-T2 受信機の特性 (勧告ITU-R BT.2215 改訂)

入力文書 : 6A/308 (露) , 6A/334 (英)

出力文書 : 6A/TEMP/130 (議長レポート添付)

審議結果 :

露は、470-790MHzにおける広帯域無線アクセスシステムの両立性に関する室内実験とフィールドテストの結果について説明し、既存の勧告やレポートへの反映を希望した。

英 (6A/334) は、現在市販されているDVB-T2 受信機で、受信機のフィルタの有無や、妨害波LTEのBPFの有無によるDVB-T2 とLTEの混信保護比を測定した結果を報告した。本内容は既にJTGに提出した内容であり、本会合でのアクションは求めているが、将来は勧告BT.2033 やレポートBT.2215 への反映を考えていると説明した。

DG議長は、露の提案は、勧告ではなくレポートBT.2215 に反映させることとした。また、DG議長は、本会合で内容の議論をする時間がないとして、次回会合以降にレポートBT.2215 の改訂にむけて本寄与文書が議論できるようにする議長レポート添付文書を作成することを提案した。その結果、6A/308、6A/334 をそのまま貼り付けた勧告ITU-R BT.2215 「TV受信機の混信保護比と過入力閾値レベルの測定」改訂提案に向けた作業文書案 (6A/TEMP/130) が承認され、議長レポートに添付された。

○JTG4-5-6-7 向けのデジタル放送の品質基準

入力文書 : 6A/332 (英) , 6A/333 (英) , 6A/339 (BNE) , 6A/341 (EBU) ,
6A/342 (EBU) , 6A/349 (NDR/ZDF)

出力文書 : 6A/TEMP/149R1 (議長レポートに記載)

審議結果：

JTG4-5-6-7 でQEFの考え方などの放送の品質パラメータについて議論されたことを受けて、更なるアドバイスをJTG4-5-6-7 に提供することについての審議である。

英（6A/332）は、WRC-15 議題 1.2 における地上テレビ放送の技術的特性や他の技術課題に対し、WP6AがJTG4-5-6-7 に対して、リエゾン文書を通じて、IMTのテレビ放送信号への共用・両立性に関する干渉検討に適用すべき測定法について、さらなるアドバイスをすることを提案した。

さらに英（6A/333）は、モンテカルロ法を用いた干渉検討に関連した地上デジタルTVのエラー継続のメカニズムについて説明した。LTEの信号生成にMATLABを使用しており $\sin(x)/x$ による周波数領域の裾野の広がりはないとコメントした。

BNE（6A/339）は、移動業界がIMT移動機とDTTB受信機の両立性検討に用いているモンテカルロシミュレーションでは、DTTBが疑似エラーフリーとなる条件を考慮すべきとし、これは、現実的にはサービスエリアフリンジで1時間に1回のエラーを視聴者が確認することであるとしている。さらにurban/sub urban/ruralでそれぞれの条件で決定すべきと提案した。

EBU（6A/341）は、放送とIMTのそれぞれのシステムの特徴と、時間軸上での干渉の考え方について説明した。放送に関しては、疑似エラーフリー（QEF）の状態をサービスエリアのフリンジで時間率99%を実現するように設計しており、残りの1%は異常伝搬などによる干渉によるものであると説明。

さらにEBU（6A/342）は、IMT UE干渉からDTTB保護に関して、JTG4-5-6-7でのモンテカルロ法における時間に関する要素の検討と両立性検討の結果におけるDTTB受信機のACSの影響の検討についての課題について説明し、QEF基準に関連する許容可能な閾値IE%を勧告ITU-R BT.1368 と勧告ITU-R BT.2033に追記すること等を提案した。

NDR/ZDF（6A/349）は、DVB-T/T2 受信機へのLTE干渉による影響の概要を説明した。

SG6 議長、BBC、イラン、EBUは、1時間に1秒の断続は放送としては受け入れられないとコメントし、英の寄与文書（6A/332）に基づき、干渉検討に適用すべき測定法に関する寄与文書の紹介、QEFの考え方、放送品質基準は1時間もしくは1日QEFが継続することであることを記載したJTG4-5-6-7へのリエゾン文書案を作成して議論した。

仏は、QEFの定義に反対はしないが、QEFの継続時間が明確でなく、1時間のassessmentの必要性についてリエゾン文書案で参照している勧告に記載が無いとして、リエゾン文章の送付に反対し、フィンランド、独、スイスも

仏を支持した。また、米、蘭はJTGからリエゾンが来ていない為、リエゾン文書の送付に反対した。

WP6A議長は、リエゾン文章の送付に関する議論が収束しなかった為、リエゾン文章を送付せず、今回の議論を議長レポート本文に記載することとした。また、必要に応じて各主管庁がJTGに直接入力することを提案した。

○その他

- ・ 勧告ITU-R BT.2036 に関するJTG4-5-6-7 へのリエゾン文書

入力文書：6A/322（伊，バチカン）

出力文書：6A/TEMP/128（リエゾン文書）

審議結果：

伊（6A/322）は、前回会合で仮採択され、承認手続きが行われた勧告ITU-R BT.2036「地上デジタルテレビジョン放送の周波数プランニング基準に向けた標準受信システムの特性」がWRC-15 議題 1.1 の検討において有益であることから、JTG4-5-6-7 へ勧告制定の情報を提供するためのリエゾン文書を提案した。

JTGへの技術情報の提出期限を過ぎているので提出済みの資料の補足という位置付けにすること、コンタクトパーソンをSG6 議長とBunch氏（豪）とすることで、リエゾン文書（6A/TEMP/128）の送付を承認した。

(3) テレビジョン関連

○地上デジタル放送

- ・ 全世界的な放送ローミング

入力文書：6A/264/Annex17（前回議長レポート），6A/351（ラポータグループ）

出力文書：6A/TEMP/115（リエゾン文書），

6A/TEMP/123（議長レポート添付）

審議結果：

全世界的な放送ローミング受信機の主要機能を検討するラポータグループ（6A/351）は、前回会合の伊提案（6A/196）をもとに受信機の主要機能を示した新勧告草案ITU-R BT.[R-WBR]に向けた作業文書案と、番組情報を受信者に提供するためのメタデータの規格化に関するWP6Bへのリエゾン文書案を提案した。

SG6 議長の提案により、アクセシビリティの面から、メタデータで扱う情報に「inclusion of access services for people with disabilities and the elderly」を追加することになった。BT.[R-WBR]は新勧告草案に向けた作業文書

(6A/TEMP/123) として議長レポート添付され、WP6Bへのリエゾン文書案 (6A/TEMP/115) も承認された。

○伝送システム

・勧告改訂草案ITU-R BT.1306-6

入力文書：6A/264/Annex5（前回議長レポート），6A/304（中国），6A/314（日本）

出力文書：6A/TEMP/122（議長レポート添付）

審議結果：

地上デジタルTV放送の伝送システム勧告BT.1306「地上デジタル放送の誤り訂正、データフレーム、変調、送信方法」の改訂提案に関する審議である。

前回議長レポート（6A/264/Annex5）は、前回会合で日本が提案した、BT.1306 に記載のパラメータ表のうち、チャンネル占有率に関する記載に関して、スペクトルマスクを規定した2つの勧告（SM.1541 とBT.1206）を参照する改訂草案である。SWG議長と中国から複数のマスク勧告の参照は誤解を招くとして継続審議となっていた。

日本（6A/314）は、議長レポート添付の内容を支持し、更に、誤解を招かないために2つのマスク勧告の補足説明を追加することを提案した。

中国（6A/304）は、新しいDTTBシステムDTMB-AをBT.1306 に追加することを提案した。

日本提案の改訂内容については、特に異論なく合意が得られた。日本は本会合での改訂を望んだが、SWG議長から中国のDTMB 6MHz、7MHzシステムのマスクを追加するBT.1206 改訂提案が本会合に提出されたばかりのため、日本提案によるBT.1306 の改訂を本会合で行う場合は、BT.1306 のDTMBにおけるBT.1206 の参照を削除することになると説明があった。本寄書は、BT.1206 への参照を削除されることを望まない中国と事前調整のもと作成したため、BT.1306 の改訂はBT.1206 の改訂と同時に行うことで日本も了承した。

中国提案について、露は第1世代なのか、第2世代なのかを再度検討すべきである、Annex5 の文献の内容が不十分であると指摘した。日本は提案システムのパフォーマンスがDVB-T2 の特性に近いため第2世代としてBT.1877 に記載するのが適当とコメントした。また、勧告BT.1306 にMulti Carrier system が2つあるという質問に対して、中国は名称をTime-domain synchronized multi-carrier system or TDS と変更した。

議論の結果、議長レポート添付（6A/TEMP/122）として、次回会合までに第1世代のシステムとして勧告BT.1306 に規定するのか、第2世代のシステ

ムとして勧告BT.1877 で規定するのかを再度検討すること、また、文献の内容などの充実を図ることとなった。

・勧告改訂草案ITU-R BT.1206

入力文書：6A/303（中国）

出力文書：6A/TEMP/124（議長レポート添付）

審議結果：

地上デジタルテレビジョン放送のスペクトルマスクのITU-R勧告BT.1206-1「地上デジタルテレビジョン放送のスペクトル制限マスク」の改定に関する審議である。

中国（6A/303）は、勧告BT.1206-1 に、6、7MHzのチャンネル帯域幅に対応したSystem D（DTMB）のスペクトルマスクを追加することを提案した。

提案内容は、そのまま勧告改訂草案（6A/TEMP/124）として議長レポート添付とした。

・新レポート草案ITU-R BT.[DTB]に向けた作業文書

入力文書：6A/264/ Annex14（前回議長レポート）、6A/344（レバノン）、6A/345（レバノン）、6A/321（CBS）、6A/352（ラポータグループ）

出力文書：6A/TEMP/127（SG6 送付）

審議結果：

地上デジタル放送システムの最新情報を記載し、方式選択のガイドラインを目指した新レポート草案ITU-R BT.[DTB]「地上デジタル放送システム」に向けた作業文書について審議である。

前回議長レポート（6A/264/ Annex14）は、前回会合でラポータグループ（RG）提案による、新レポート草案の構成の見直し、各システムのパラメータ比較表の修正、システム毎の簡単な説明と関連勧告への参照の記載が反映された作業文書であり、継続審議となっていた。

レバノン（6A/344）は、BT.[DTB]に地上デジタル放送システムとして多チャンネル映像配信システム（MVDS）を載せることを提案した。MVDSは10GHz以上の周波数帯（欧州では40GHz帯）を使うDVBベースのシステムであり、40MHz帯域幅で36～50Mbpsの伝送を行うことができるとしている。

また、レバノン（6A/345）は、現在、MVDSに関する、技術要件や他のサービスとの共用条件を規定するITU-R BT勧告がなく、ITUが他国におけるMVDSサービスの利用状況や技術条件に関する調査を促進し、BT.[DTB]のMVDS部分を更新していくべきであるとし、ハンドブックや関連する勧告、レポート

を策定していくための素材入力として活用するためのアンケート実施を提案した。

CBS（6A/321）は、前会合で、勧告ITU-R BT.2036「地上デジタルテレビジョン放送の周波数プランニング用標準受信機システムの特性」が勧告化された為、地上デジタルテレビジョン放送の標準受信機特性として勧告BT.2036を参照する旨の内容を、BT.[DTB]に追記することを提案した。

ラポータグループ（6A/352）は、FLOシステムの削除など各システムの特徴を示した表の修正・加筆、その他エディとリアルな修正を提案した。

MVDSの追加について、露（RG議長）は、MVDSにはシステム勧告などがなくRGのToRにある勧告のReviewを行うという点で所掌外であると発言した。EBUも、MVDSが放送業務かどうか分からないとし、露を支持した。コロンビアは、MVDSがメキシコで運用されており、RRでもその周波数帯が放送業務に分配されていると説明した。日本は、新しいシステム（MVDS）は独立したレポートをまず作成し、その後にBT.[DTB]への追加を検討すべきと提案した。その結果、今会合では、MVDSのBT.[DTB]への追加とアンケートは行なわず、次回会合にMVDSを説明する新レポート草案を作成していくことでレバノンも合意した。

CBS、ラポータグループの提案を承認し、新レポート案（6A/TEMP/127）としてSG6に送付することとした。

○プランニング

・レポート改訂草案ITU-R BT2254.

入力文書：6A/340（EBU）

出力文書：6A/TEMP/126（SG6送付）

審議結果：

DVB-T2の周波数およびネットワークプランに関するレポートITU-R BT.2254「DVB-T2の周波数およびネットワークプランニングの特徴」の改訂に関する審議である。

EBU（6A/340）は、BT.2254に対して、表の訂正、明確化、最新情報による混信保護比の更新、MISOに関する測定結果、室内実験結果の更新、欧州でのDVB-T2の実施情報の更新などを提案した。

仏は、3.4.5.2 低トラフィック（一定）と過渡状態の種類の説明が不十分として、低トラフィックモードではPRとOthが劣化するとの記載を提案した。今会合でのレポート改訂承認についての議論については、EBUは数値の修正があるので直ぐに承認して欲しいと要請、豪が第3地域でも情報の要求が強いので承認を支持、露も支持した。EBUからの改定案は承認され、レポート

改訂案（6A/TEMP/126）としてSG6 に送付された。

○中継局ネットワーク構築

・新レポート草案ITU-R BT.[ISDB-T_RELAY]

入力文書：6A/264/Annex8（前回議長レポート），6A/316（日本、伯）

出力文書：6A/TEMP/121（SG6 送付）

審議結果：

ISDB-Tの中継方式やSFNの遅延時間の調整などの日本の経験をまとめた、デジタル中継局のネットワーク構築に関する新レポートに関する審議である。

前回議長レポート（6A/264/Annex8）は、前回会合までに日本が入力した「概要」、「ネットワーク構築に必要な回線設計法」、「中継回線の品質評価手法」、「ISDB-Tのネットワーク構築にて考慮が必要な干渉（アナログTV放送波からの干渉、デジタル放送波からの干渉、SFN回り込み干渉など）」、「各干渉に対する補償技術（アンテナダイバーシチ、回り込みキャンセラなど）」が記載されている新レポート草案に向けた作業文書である。

日本（6A/318）は、衛星や光ファイバーによる放送所への番組伝送方式を追加した新レポート草案を提案した。

SWG議長から、第2章のRelay Systemという表現はふさわしくないとのコメントがあり、Signal Distribution Systemと変更した。新レポート草案は承認され、新レポート案（6A/TEMP/121）としてSG6 に送付された。

○カバーエリアの客観評価関連

・勧告改訂草案ITU-R BT.1735-1 に向けた作業文書

入力文書：6A/264/Annex3（前回議長レポート）

出力文書：6A/TEMP/119（SG6 送付）

審議結果：

勧告ITU-R BT.1735「勧告ITU-R BT.1306 で規定された地上デジタルテレビジョン放送システムBの放送信号の受信品質の客観的評価方法」は、アナログテレビジョンのカバーエリア評価の際に用いている受信品質の5段階の評価に準じて、デジタルテレビジョン（DVB-T）においても5段階あるいは3段階の受信品質の客観的評価方法を提供するものである。

前回議長レポート（6A/264/Annex3）は、2012年10月の会議での議論を受けて作成した勧告ITU-R BT.1735 の改訂草案に向けた作業文書であり、送信機または中継送信機が勧告の既存のバージョンに示された値より低いMER値を持つ可能性について述べている。前回会合で改訂は承認されたが、豪が他の主管庁の評価と確認を待つことを希望したため、勧告改訂草案として、議

長レポート添付とされていた。

今回、どこからも寄書がなく、勧告改訂案（6A/TEMP/119）としてSG6 に送付された。

・ レポート改訂草案ITU-R BT. 2252

入力文書：6A/264/Annex11(前回議長レポート)

出力文書：6A/TEMP/120（SG6 送付）

審議結果：

レポートITU-R BT.2252「システムAおよびBの地上デジタルテレビジョン放送信号のカバーエリアの客観評価」は、勧告ITU-R BT.1735-1「勧告ITU-R BT.1306 で規定された地上デジタルテレビジョン放送システムBの放送信号の受信品質の客観的評価方法」に関連した具体的な事例を扱うレポートである。

前回議長レポート(6A/64/Annex11)は、2012年10月と2013年4月のWP6Aへの寄与文書にて提供された、豪における海岸部および内陸部を含むDVB-Tのフィールド測定実験結果をレポートITU-R BT.2252 chapter 2.2.3（オーストラリアのフィールド測定による分析）のAnnex A,B,C,Dに反映することを提案するものである。豪が他のシステムからの寄与を待つことを希望したため、レポート改訂草案として議長レポート添付されたものである。

今回、どこからも寄書がなく、レポート改訂案（6A/TEMP/120）としてSG6 に送付された。

ODTTBハンドブック

・ 新レポート草案ITU-R BT.[DTTBMEASUREMENT]に向けた作業文書

入力文書：6A/264/Annex13（前回議長レポート添付）

出力文書： なし

審議結果：

前回議長レポート(6A/264/Annex13)は、前回会合で、ウクライナが提案した、DTTBシステム全体(end-to-end)での品質をモニタリングするための測定ガイドラインを提供する新レポート草案ITU-R BT.[DTTBMEASUREMENT]にむけた作業文書である。現在の測定で用いられているMERに関する記載がなく、提案内容が10年以上前から知られている内容で新レポートとするのはふさわしくないとし、次会合までに各主管庁に内容を問うこととなっていた。

今回、どこからも寄書がなかったため、次会合までに再度寄書を求めることになった。

OSFN

・ SFNの設計と実装

入力文書：6A/328 (Rai Way)

出力文書：なし (情報扱い)

審議結果：

前回会合で、伊が大規模SFNにおける送信機識別番号の利用に関する寄書を提出したが、いくつかの主管庁が、SFNの送信機識別の一般的な適用性の検討の前に、SFNに関するさらなる確認と調査のため、より一般的な設計と実装に関する入力寄書を募ることとなった。

Rai Way(6A/233)は、Rai WayでのDVB-T and DVB-T2 SFN SFNネットワークに関する経験、実例に関して説明を行った。

Teracomは、DVB-T2Liteの高速移動受信については興味深く、長期調査を行うことで良いレポートになるのではないかとコメントした。EBUも有益な情報であるとコメントした。

・ SFNの設計と実装に関するラポータグループの設置

入力文書：6A/330 (伊・バチカン)

出力文書：6A/TEMP/125 (ラポータグループ設置)

審議結果：

前回会合で、伊がSFNの設計と実装に関するRGの設立を提案したが、RGのルールが必要であるとのことで継続審議となっていた。

伊(6A/330)は、Rai Wayの寄書(6A/233)がRai Wayが広範囲なSFNを設計、実装、最適化する際に直面した課題とその課題の解決方法を記載しているため、新レポートとして広く活用されることがITU-Rメンバーにとって有益であると説明した。そして、世界中の様々な事例をまとめて新レポートを作成するためのRGの設立を提案し、RGの取り決め事項として「SFNを実施している国から、SFN構築に関する情報を、すでにITU-Rに提出されている寄書を含めて収集する」、「2014年春会合で新レポートの暫定案を、秋会合の2週間前までに最終版を作成する」、「勧告化の必要性を検討する」を示した。

伊、バチカン、ガーナ、露がRGの設立に賛成した。豪が勧告作成をタスクにしている点に懸念を示したため、この項目は削除された。議長の提案により作業の〆切の設定は削除された。EBUは多くのSFNがBand IIIで行われているのでBand IIでのデジタル化を想定される内容は避けるべきとしてVHFのBand II, IIIの記載の削除を提案し、蘭もVHF、UHFともサブバンドの記載削除を提案したため、VHF、UHFともサブバンドの記載は削除された。露の提案により、受信機メーカーからも意見を求めることになった。上記の修正のもとRGの設置が承認され、RG議長はRai WayのMr. Aldo Scotti氏となった。RGの作

業により次回会合に作業文書を報告することになった。

○測定方法

・ DVB-Tにおけるカバレッジ測定とプランニング基準

入力文書：6A/277（WP1C）

出力文書：なし（情報扱い）

審議結果：

（6A/277）はWP1CからWP6Aへのリエゾン文書である。WP1Cは、勧告ITU-R SM.1875 は、DVB-Tのカバレッジ測定のすべての側面をカバーすることを目的とするのではなく、ネットワークを設計に用いられたプランニング基準の検証のための測定方法を述べたものであり、またWP1Cが知る限りでは全てのプランニングツールは、電界強度に基づいていて、BERや他のQoSパラメータを予測するものではないと述べている。従って、WP1Cとしては勧告ITU-R BT.1735 またはそのサポートレポートの変更の結果として、勧告ITU-R SM.1875 の更新をする必要はないとしている。

本リエゾン文書は、情報としてNotedとされた。

○電波伝搬

・ 短波の電離層伝搬

入力文書：6A/280（WP3L）

出力文書：なし（情報扱い）

審議結果：

Doc.6A/280 は、WP3LからWP5A、WP6A、HFCCへのリエゾン文書である。WP3Lは、勧告ITU-R P.842 内の“デジタルシステムのための予測”に関するセクションは、今ではITU-R勧告P.533 に改良された方法に置き換えられたため、削除したと述べている。また、WPの3Lは、電離層伝搬の統計的手法の困難性について注意喚起している。

BBCはWP5Cにも送るべきとしたが、WP6Aが3LのためにLSを送付することができないとし、特段アクションはとらないこととなった。情報としてNotedとされた。

○その他

・ 将来のための周波数要求

入力文書：6A/300（ラポータグループ）

出力文書：なし（議長レポート記載）

審議結果：

Doc.6A/300 は、将来の放送技術の挑戦のための必要な周波数を見積もるために設立されたRGからの報告である。将来の放送業務のための周波数要求、ならびに関連した既存の勧告やレポートを更新することを求めている。これらは 2014 年秋期のSG6 会合で報告するとしている。

SG6 副議長(Bunch氏)は、このSG6 のRGは、WP6CにはUHDTV、WP6Bにはコーデックパフォーマンス、WP6Aには周波数要求についての情報の提供を求めていると説明した。

議長レポートにこの寄与があったことを記載し、次回会合に寄与を求めるのが適当として了承された。

3.2 保護(SWG 6A-2)

SWG6A-2 では、29 件の入力文書について審議し、1 件の新レポート案を承認し、4 件のリエゾン文書と 3 件の議長レポート添付文書を作成した。なお、ドラフティンググループは次のとおりである。実際にはDG-B（コグニティブ無線）のみ会議を行い、DG-AとDG-Cは関係者がTEMP文書を作成した。

SWG2 DG A	聴覚補助 : Hearing Aids	議長 : Stanley氏 (Bubcock)
SWG2 DG B	コグニティブ無線	議長 : Lashkevich氏 (露)
SWG2 DG C	PLT、ITU-Tへリエゾン文書 ・ 有線/無線通信システムとの共存 ・ 勧告J.HiNoCと勧告G.fastにおける有線システムの課題	議長 : Shaw氏 (英)

○聴覚障害者のためのV,UHF帯による無線補聴器に関するITU-T JOINT COORDINATION ACTIVITY (JCA-AHF)

・ JCA-AHFの活動に関するリエゾン文書

入力文書 : 6A/265 (JCA-AHF) 、 6A/266 (JCA-AHF) 、 6A/267 (WP5B) 、
6A/270 (WP5A) 、 6A/295 (JCA-AHF) 、 6A/296 (JCA-AHF)

出力文書 : 6A/TEMP/118

審議結果 :

聴覚障害者のためのV,UHF帯における無線補聴器の利用に関して、ITU-Rへの協力要請に基づく議論である。ITU-T JCA-AHFはWP5Aに対し文書を送り、WP6Aには情報提供として入力している。6A/265 でJCA-AHFから依頼のあった、WP6AからJCA-AHFへの代表者推薦は、現時点ではJCA-AHFが対象とする周波数が 1200MHz~1600MHzであり放送と関係ないため行わず、WP6Aの関与はJCA-AHFでの議論を既にタスクグループに参加しているBrian Copsey

氏（ETSI）を通して情報提供を受ける事とした。リエゾン文書案は承認された。

○コグニティブ無線システム（CRS）

- ・新レポート草案ITU-R BT.[CRS_BS_BANDS]「地上放送の周波数帯へのCRSの導入に関連した共用検討と国内検討事例」に向けた作業文書、ホワイトスペースの定義

入力文書：6A/264/Annex 9（前回議長レポート）、
6A/6A/308（露）、6A/311（米）、6A/323（伊、バチカン）、
6A/343（加）

出力文書：6A/TEMP/147、6A/TEMP/151

審議結果：

前回会合の議長レポート（6A/164/Annex 9）は、2012年4月会合に露から入力されたDVB-Tについての新レポート草案と、2013年4月会合でCBSより入力されたATSCについての検討結果が含まれている。これに対し、米と加は、DTV保護基準を緩和することを提案した。具体的にはコグニティブ機器からのDTV（ATSC）の保護基準をI/N=-20dBではなく-10dBで十分であることを主張している。これに対し、伊・バチカンは放送保護のためにI/N=-20dBは適切であるとし、露も放送保護が必要である点を入力している。レポートの構成を変更する議論となった。レポートの最初に、放送保護基準として勧告ITU-R BT.1895があり、プランニング基準として勧告ITU-R BT.1368、勧告ITU-R BT.2033を満足する必要があることと、ラジオマイク（SAB/SAP）が多くの国で二次業務として扱われていることを記載し、ANNEXに国毎の事情を記載することとなった。今会合への入力文書はANNEXへ入力のために更新することを進めることが記載され、ANNEXは空欄のまま作業文書として議長レポートに添付されることになった（6A/TEMP/151）。さらに関連して、Opportunistic radio systems、Ad hoc radio systems、White space (spectrum)、TV white spaceの4つの用語についてそれぞれのWPが独自の解釈で研究を進めることに懸念があるので定義するようCCVとWP1Bに要請するリエゾン文書を作成し承認された（6A/TEMP/147）。

- ・WP1Bへのリエゾン文書「新レポート草案ITU-R BT.[CRS_BS_BANDS]」に向けた作業文書

入力文書：6A/278（WP1B）

出力文書：6A/TEMP/144

審議結果：

入力文書 6A/278 でWP1Bは、2013 年 6 月の会合から、コグニティブ無線によるホワイトスペース利用のための周波数管理手法と周波数管理技術に関する新レポート作成に向けた検討を開始したことを情報提供し、同分野に関する作業の重複を避けるため、各WPの検討状況の報告、特に、新レポート第3章「ホワイトスペース利用で考慮すべき事項」についてのコメントを要求している。これに対する返書として、WP6Aは、RRで放送に分配された周波数帯域で、管理することができない利用は、サービスエリア内全体で受信品質を保つ必要がある放送業務の運用に大きな懸念があることを伝えた。さらにWP6Aは現在、勧告ITU-R BT.1871 においてラジオマイクの要求条件の改定を行っていることを合わせて記載した。リエゾン文書は送付を承認された。

○IMTから既存の共同受信システムのヘッドアンプへの干渉検討

- ・新レポート案 ITU-R BT.[ASSESS_EXAMPLE]「既存の共同受信システムのヘッドアンプへのIMTの影響に起因する放送業務への干渉評価における勧告BT.1895 と関連するレポートBT.2265 の適用例」

入力文書：6A/264/Annex 7 (Rai Way)

出力文書：6A/TEMP/143

審議結果：

前回会合で、RaiとRai Wayは、勧告BT.1895 による地デジの保護基準とレポートBT.2265 に干渉評価手法として記載されているモンテカルロ法を用いた調査により、分配用広帯域アンプで発生する 3 次歪の影響を含むLTEによる干渉を評価した結果を報告し、議長レポートに添付されていた。今会合、他に寄書がなかったため特段の議論なく承認され、SG6 へ送付されることとなった。

○IMTから既存の共同受信システムのヘッドアンプへの干渉検討

- ・新レポート草案 ITU-R BT.[ACTIVE DEVICE MODEL]「既存の共同受信システムのヘッドアンプへのIMTの影響に起因する放送業務への干渉評価における勧告BT.1895 と関連するレポートBT.2265 の適用例」

入力文書：6A/264/Annex12 (前回議長レポート)、6A/327 (Rai Way)

出力文書：6A/TEMP/146

審議結果：

前回 (2013 年 4 月) に入力され、議長レポートに添付となった (6A/216) のタイトル変更、および内容の明確化を図った寄書である。LTEやDVB-Tなどをアンテナ受信した後、宅内や共同受信の分配システムにおける増幅器の非線形 (2 次、3 次歪) の検討モデルについて記述されている。OFDM信号を多数の信号とみなしてシミュレーションし、増幅器を多項式近似した場合の、

非線形成分の項の係数の導出等について説明されている。RaiとRai Wayは、勧告BT.1895 による地デジの保護基準とレポートBT.2265 に干渉評価手法として記載されているモンテカルロ法を用いた調査により、分配用広帯域アンプで発生する 3 次歪の影響を含むLTEによる干渉を評価した結果を報告した。今会合では、無線周波数の受信回路における非線形を考慮した放送業務への妨害検討のために用いるリファレンスモデルについて、前会合からタイトル変更を行い、勧告化したい旨の説明をした。豪は、既にある受信モデルに関する勧告に基づいて混信保護比などの勧告が作られており、各国の主管庁はそれに従ってプランニングを行っており、伊の提案するリファレンスモデルを新たに勧告化することに反対した。議論の結果、新レポート草案として議長レポート添付されることとなった。

○スペクトルマスク勧告 ITU-R SM.1541

- ・リエゾン文書草案 「帯域外輻射を規定する勧告 ITU-R SM.1541-5」

入力文書：6A/289 (WP1B)

出力文書：6A/TEMP/150

審議結果：

日本から当該勧告のAnnex4 に地上デジタル放送のスペクトルマスクとして勧告 ITU-R BT.1206 を参照先として追加するよう要請したリエゾン文書に対し、更新が完了したことを知らせるリエゾン返書である。SWGにおいて、SM.1541 Annex10 のland mobile radio serviceのマスクが古いので、IMT、LTEを含む新しい情報に更新する必要があることを他のWPに注意喚起すべきとの意見が出た。また、多くの放送業務の帯域外マスク、放送業務の隣接帯域のマスクもなく、次回のSG1 会合は、次回WP6A会合の後なので、議長レポート添付として情報を求める事となった。

○無線通信システムと有線システム間の干渉

- ・リエゾン文書案 「新勧告ITU-T G.Fastのもとで検討されている有線通信」

入力文書：6A/268 (WP5ABC)、6A/273 (WP1A)、6A/274 (WP1A)、
6A/275 (WP1A)、6A/284 (ITU-T SG15)、6A/290 (SG1)、
6A/336 (PLT ラポータグループ)

出力文書：6A/TEMP/148

審議結果：

ITU-T 勧告G.Fastは、加入者端末への高速アクセス (Fast Access to Subscriber's Terminal) について規定した新勧告案である。WP1AからのPLTに関するラポータグループ参加への要請に対してのリエゾン返書を作成す

ることとなった。その中で勧告ITU-T G.7000 の表 2.1 にある放送業務の周波数帯を記載の修正や、表 6-1 の最大干渉電力は 4dBmとすることが技術的にも規制上も好ましいと記載することとなった。リエゾン文書案は承認され、WP1A、ITU-T SG-15 に送付されることとなった（ITU-R WP5A,B,Cには情報提供）

- ・ ITU-R WP1A、ITU-T SG5,9 へのリエゾン文書案「ITU-T 勧告 J.195.1 (J.HINOC-REQ) を考慮した有線と無線通信の共存について」

入力文書：6A/269 (WP5ABC)、6A/272 (WP1A)、6A/275 (WP1A)、
6A/290 (SG1)、6A/313 (ITU-T SG9)、6A/336 (PLT RG)

出力文書：6A/TEMP/145

審議結果：

ITU-T勧告J.HINOC-REQ は、光ファイバーケーブルテレビ回線に接続されたビルの棟内伝送に同軸ケーブルを用いる場合の要求条件を記載している。審議では、WP1Aが 6A/272 で無線通信への影響の懸念を表明していることを支持し、今会合でWP6Aに入力があった、短時間のパルス干渉でも地上デジタル放送の映像破綻が深刻であることを説明し、短時間干渉でも影響が大きいことをITU-T SG5 が作成中の勧告案 ITU-T K.mhnの作成には考慮するよう要請するリエゾン文書を作成することとなった。文書案は承認され、WP1AとITU-T SG5,9 に送付されることとなった。（ITU-R WP5A,B,C,Dには情報提供）

○誘導システムからの干渉保護のための離隔距離計算法

- ・ 離隔距離計算法に関する勧告 ITU-R SM.2028 のリエゾン返書

入力文書：6A/276 (WP1A)

出力文書：なし（情報扱い）

審議結果：

WP1Aからの誘導システムの離隔距離の計算法を確認するリエゾン文書に対する返書である。WP6Aからは、勧告ITU-R SM.2028 記載の計算法では、勧告ITU-R BT.1895 にある保護基準が満たせないのではないかと確認したが、返書では、全体の受信系の雑音電力は熱雑音だけでなく、人工雑音、大気ノイズ及び他の予期せぬノイズを含み、これらの影響が 30MHz以下においては熱雑音よりも支配的であるためとしており、保護距離計算の 2 つの方法（ノイズレベル、SNR）は、上記の 1%ルール ($I/N=-20\text{dB}$) に矛盾しないとしている。このため、誘導システムが放送サービスへ与える影響はわずか 0.04dB に満たないとしている。Notedとした。

3.3 共用(SWG 6A-3)

SWG6A-3 では、放送と他の業務との共用に関する審議を行った。第 1 回SWG (11/12) にて、SWG6A-3 の下に 4 つのDG (ドラフティンググループ) を作成した。

DG 6A3-A	Spectrum requirement for DTTB 地上デジタル放送の周波数要求	議長：Hemingway氏 (英)
DG 6A3-B	Sharing Compatibility Studies 共用と両立性の検討	議長：Sami氏 (EBU)
DG 6A3-C	SAB/SAP/BAS characteristics 放送補助業務の特性	議長：Vieracker氏 (NDR)
DG 6A3-D	Updates to Work Plan ワークプラン更新	議長：Barret氏 (FreeTV Australia)

4 回のSWG会合、12 回のDG会合 (6A3-A : 3 回、6A3-B : 6 回、6A3-C : 2 回、6A3-D : 1 回) を開催し、26 件の入力文書を審議し、8 件の出力文書を作成した。

○地上デジタル放送の周波数要求 (WRC-15 議題) 6A3-A

- ・新レポート草案「第 1 地域とイランにおける 694-790MHzの地上放送のための周波数要求」に向けた作業文書

入力文書：6A/264/Annex10 (前回議長レポート)、6A/325 (周波数要求に関するラポータグループ)、6A/329 (トルコ)

出力文書：6A/TEMP/132 (議長レポート添付)

審議結果：

入力文書のマージとアンケート結果を追記する情報更新が行われた。アンケート未回答の主管庁に対しては、SWG3 議長がオフラインで情報の提供を求め、アイルランド、ブルガリア、スイス、バチカンから会期中に回答があり、集計結果の更新がなされた上で、新レポート草案「第 1 地域における 694-790MHzの地上放送のための周波数要求」として議長レポート添付が承認された。

- ・JTG4-5-6-7 へのリエゾン文書「第 1 地域とイランにおける 694-790MHzの地上放送のための周波数要求」

入力文書：6A/264/Annex10 (前回議長レポート)、6A/325 (ラポータグループ)、6A/329 (トルコ)

出力文書：6A/TEMP/131 (リエゾン文書)

審議結果：

新レポート草案「第 1 地域とイランにおける 694-790MHzの地上放送のため

の周波数要求」に向けた作業文書の内容に基づいて、アンケートの分析結果を含む放送の周波数の必要性について、JTG4-5-6-7 に対するリエゾン文書が作成され、承認された。

○共用と両立性検討 6A3-B

・レポートITU-R BT.2265 改定草案「放送業務への干渉評価ガイドライン」

入力文書：6A/198（WP3K議長）、6A/282（WP3K、3M）、6A/283（WP3K）

出力文書：6A/TEMP/134（議長レポート添付）

審議結果：

レポートITU-R BT.2265 は制定時にいくつかの主管庁が留保（Reservation）をかけた。その理由である複数の干渉源の考慮についての課題が今回入力のWP3K、3Mのリエゾン文書で回答されている。これらを含んだレポート改訂を行う議論が行われた。仏は、WP3K、3Mが制定した勧告はJTG4-5-6-7が既に参照可能であるためWP6Aから特段周知する必要がないとコメント、さらに仏、独はこのレポート改訂は、この議論の他にも一部が解決されていないので一部だけを承認することに反対した。豪は決議 37 に従ってSG3 の作業を尊重しているので、SG3 からの回答を受け入れないことには問題があるとコメントした。露はJTG4-5-6-7 に何も出さないのは問題があるとコメントした。オフライン協議の結果、当初の提案どおりPreliminaryを付してレポート草案のままとして議長レポート添付となった。SWG3 議長は、まだ課題がある主管庁はWP3K、3Mに出席すべきとコメントした。

・議長レポート文書

入力文書：6A/287（JTG4-5-6-7）、6A/298（WP3K,3M）、6A/306（露）、6A/320（CBS）、6A/335（NDR/ZDF）、6A/337 Amended（BNE）、6A/338 Amended（BNE）、6A/339 Amended（BNE）、6A/341（EBU）、6A/342（EBU）

出力文書：6A/TEMP/135（議長レポート本文記載）

審議結果：

本会合に提出された、レポートBT.2247「DTTBとIMTの両立性検討に関するフィールド測定と分析」、レポートBT.2265「放送業務への干渉評価ガイドライン」関連の寄与文書については、JTG4-5-6-7 に提出済みの寄与文書もあるため、JTG4-5-6-7 の検討結果を考慮して、次会合以降にBT.2247 やBT.2265 の改訂を行う際の重要な情報として取り扱うことを議長レポート本文に記載することを想定したTEMP文書が作成された。なお、BT.2247 に関連する寄書は

6A/306、6A/320、6A/335、6A/337、6A/338、BT.2265 に関連する寄書は6A/339、6A/341、6A/342 となっている。

・新レポート草案[FIELD_REPORTS_IMT]に向けた作業文書

入力文書：6A/347（独）,6A/348（独）

出力文書：6A/TEMP/136（議長レポート添付）

審議結果：

放送UHF周波数帯で、DTTBを保護しつつIMT導入に関するフィールドレポートを記載した新レポート草案に向けた作業文書案が作成され、独の事例として、寄与文書 6A/347 にANNEX1 が記載された。デンマークも今後情報を入力する予定であると述べた。対象となる周波数の表記の仕方については、LTEは放送の様々な周波数で利用される可能性があるため、具体的な周波数値（例えば 470-862MHz）を入れるのではなく、IN THE BAND WITH CO-PRIMARY ALLOCATION TO THE BROADCASTING AND THE MOBILE SERVICESという記載とされた。イランは、国内に特化した寄書が多いとのコメントがあったが、独は、このレポートは他に情報提供するものであると発言し、議長レポート添付となった。

○放送補助業務の特性 6A3-C

・WP6A議長レポート添付文書 勧告ITU-R BT.1871「ワイヤレスマイクのユーザー要求条件」改定草案

入力文書 6A/264/Annex6（前回議長レポート）、6A/302（JTG4-5-6-7）、6A/331（英）

出力文書：6A/TEMP/133

審議結果：

前回会合において、アナログ放送終了後のラジオマイクの周波数移行を踏まえて、周波数レンジを 174-230MHz、520-694MHz、1785-1800MHzに見直す改訂が豪から提案され、勧告改訂草案が作成されて議長レポートに添付されていた。今回会合には、これに追加する具体的な提案が無かったため、内容の精査が不十分であり、次回会合での更なる議論が必要という結論となった。その結果、更なる議論が必要である旨の脚注を記載した上で、議長レポート添付とされることになった。合わせてJTG4-5-6-7 からのWRC-15 議題 1.2 のワイヤレスマイクに関する情報提供要請のリエゾン文書（6A/302）に対する英の返書案（6A/331）は、今会合ではJTG4-5-6-7 へ送付しないこととなった。

○作業計画更新 6A3-D

- ・ WP7Bへのリエゾン返書草案「ナノサット／ピコサットの特性と周波数要求」

入力文書：6A/291（WP7B）

出力文書：6A/TEMP/137（リエゾン文書）

審議結果：

6A/291 はWP7BからのWRC-15 議題 9.1.8 「ナノサット／ピコサットの特性と周波数要求」に関して、新レポートを作成中であり、関連WPに対し2014年5月の次回WP7Bまでに情報提供を呼び掛けるリエゾン文書である。放送の周波数帯や隣接する周波数をナノサット／ピコサットで使う考えがWP7Bにあるのかを確認する為にリエゾン返書をしたとDG議長が提案し、合意された。WP6AからWP7Bに、ナノサット／ピコサットを放送帯域もしくは隣接チャンネルで運用したときに、放送に影響を与えないという確証を求めていることを伝えるリエゾン文書を送ることで合意した。

- ・ WRC-12 決議・勧告に関連する検討の作業計画の更新

入力文書：6A/264/Annex9（前回議長レポート）、6A/324

出力文書：6A/TEMP/138

審議結果：

WRC-12 決議・勧告に関連する検討の作業計画の更新作業を行った。WRC-15 議題 1.1 と 1.2 に関する寄与文書が多くあるため、WP6Aではその作業に多くの時間を割いており、作業計画はJTG4-5-6-7 対応に集中することになった。寄与文書はNotedとされた。

3.4 その他(SWG 6A-4)

SWG 6A-4 では、非常災害時の地上放送の重要性のレポートに関する議論や、ITU-T とのインターセクターラポータグループ設置に関する審議を行った。

11 件の入力文書を審議し、出力文書は 2 件(新レポート案とリエゾン文書)であった。

○非常災害時の地上放送の重要性

- ・ 新レポート草案「非常時の情報提供における地上放送の重要性」

入力文書：6A/264/Annex16（前回議長レポート）、6A/292（ITU-D SG2）、6A/293（HFCC）、6A/294（HFCC）、6A/301（Emergency Broadcasting ラポータ）、6A/319（伊、バチカン）、6A/346（レバノン）

出力文書：6A/TEMP/116

審議結果：

非常災害時の地上放送の重要性に関する議論のためにラポータが前会合で設置された。日本を含む各国がラポータに対して情報入力し、ラポータがこれらをマージして新レポートの骨子として提出した。これと今回入力された文書をさらにマージし、新レポート草案として議長レポートに添付して更なる寄与を求め、次回会合での完成を目指すこととなった。

合わせてラポータの活動期間の延長も承認された。

- ・ SG6 へのリエゾン文書案「無線通信局長とRAGへの“人的・自然災害時の放送の役割”」

入力文書：6A/264/Annex16（前回議長レポート）、6A/292（ITU-D SG2）
6A/293（HFCC）、6A/294（HFCC）、6A/301（Emergency Broadcasting RG）、6A/319（伊、バチカン）、6A/346（レバノン）

出力文書：6A/TEMP/117

審議結果：

非常災害時の放送の重要性について、現在レポートを作成中であること、また11月21日にワークショップを開催したことをBR事務局長とRAGに通知するためのリエゾン文書が承認された。文書はWP6Aからではなく、SG6から送付することとし、文書はSG6へ送付されることとなった。

なお、災害における放送に関するワークショップが次回WP6A会合後(2013年11月21日)に開催された。

○アクセサビリティに関するインターセクターラポータグループ

入力文書：6A/318（ZDF）、6A/353（ITU-T SG-16）

出力文書：なし

審議結果：

6A/353は、ITU-T SG16からのリエゾン文書でその中で、JCA-AHF（Joint Coordination Activity on Audiovisual Human Factors）の設置の情報提供と合わせて積極的な参加が要請された。特段の議論なく、承認され、WP6A議長がSG6議長に支持（Endorse）することを報告し、SG6として返答することとなった。

○SG6発行のハンドブック

入力文書：6A/288（伊、バチカン）

出力文書：なし

審議結果：

6A/288 において伊とバチカンは、SG6 が扱う 14 のハンドブックの中には内容が古く、更新や廃止が必要であるという内容の提案である。議長レポート本文に記載し、更なる寄与を求める事となった。

○その他

- ・ Status of Texts

入力文書：6A/297 (BR)

出力文書：なし (情報扱い)

審議結果：

BR (6A/297) がWP6A、WP6B,WP6Cの所掌の研究課題、勧告、レポート等の文書リストであるStatus of Textsを紹介し、Notedとされた。

4. ワークショップ「Emergency Broadcasting」

11 月 21 日に災害時における放送の重要性についてのワークショップが開催され、以下のプレゼンが行われ、活発な意見交換が行われた。日本の災害への備えや東日本大震災での放送の重要性の報告は高く評価された。

- ・ 新レポート草案 「非常時の情報提供における地上放送の重要性」

Emergency Broadcastingラポータ

- ・ 非常時における放送の重要な役割

Craig Tanner - CBS Broadcasting Inc.

- ・ ラジオは他の電子メディアに取って変わられたという見方もあるが、緊急時に最も弾力的に運用できるメディアである

James Deane - BBC Media Action

- ・ 日本の災害放送

放送技術課 塩崎技術企画官

NHK 浜田技術局長

WEBサイト

<http://www.itu.int/en/ITU-R/study-groups/workshops/RSG6-WSEBC-2013/Pages/default.aspx>

5. あとがき

今会合で、日本は、地上放送に関して 4 件の寄書（新勧告草案の修正案 1 件、勧告改訂案 2 件、新レポート草案の修正案 1 件）を入力した。

新勧告草案の修正案の 1 件は、携帯端末向け地上マルチメディア放送のプランニング基準の新勧告に関する寄書である。日本が、ISDB-Tマルチメディアの標準受信機特性と隣接混信保護比の追加を、韓国がT-DMB/AT-DMBの標準受信機特性の追加と構成変更を、露がDVB-T2 Liteの追加を提案した。DVB-T2 Liteの追加提案は更なる精査が必要なため、次会合で審議することとなり、ISDB-TマルチメディアとT-DMB/AT-DMBの 2 方式の新勧告案ITU-R BT.[ETMMPLAN]がSG6 に送付されることとなった。

勧告改訂案の 2 件は、地上デジタルTV放送のプランニング基準勧告BT.1368 の改訂、地上デジタルTV放送の伝送システム勧告BT.1306 の改訂に関する寄書である。地上デジタルTV放送のプランニング基準勧告BT.1368 の改訂に関しては、日本が 7 月のJTG4-5-6-7 会合に入力したISDB-TとIMTの混信保護比と過入力しきい値の追加を提案し、前会合で提案したISDB-Tの隣接チャンネル混信保護比の修正と併せて承認され、勧告改訂案としてSG6 に送付されることとなった。地上デジタルTV放送の伝送システム勧告BT.1306 の改訂に関しては、日本が標準的なマスクと、地域に特化したマスクを記載した 2 つの勧告の関係を明確化する説明を追加し合意が得られた。しかし、中国が同じ勧告に新たな地デジ方式(DTMB-A)を提案したが内容の精査が必要であること、また、中国方式がスペクトルマスクの参照先としている勧告に 6, 7MHzマスクを追加する提案をした為、この提案が承認されるまで本勧告の改訂を待つ必要があることから、勧告改訂提案ITU-R BT.1306 は議長レポート添付されることとなった。

新レポート草案の 1 件は、ISDB-T中継局ネットワーク構築手法の新レポートに関する寄書である。日本はブラジルと共同で、衛星や光ファイバーによる放送所への番組伝送方式の追加を提案し、承認され、新レポート案ITU-R BT.[ISDB-T_RELAY]としてSG6 に送付されることとなった。

また、日本における 3.11 の経験や緊急放送システムの構築状況に関する情報などをマージした、非常時の情報提供における地上放送の重要性に関する新レポートの骨子がラポータから提出された。次会合での完成を目指し、新レポート草案ITU-R BT.[EMBC]として議長レポートに添付されることとなった。これに関連し、11 月 21 日に災害時における放送の重要性についてのワークショップが開催され、総務省の塩崎技術企画官、NHKの浜田技術局長がプレゼンを行い、日本の災害への備えや東日本大震災での放送の重要性の報告が高く評価された。

次会合に向けては、日本からの提案は一区切りがついたため、次世代地上放送システムの研究開発状況の紹介など、新たな寄与を検討する必要がある。

以上

表 1 日本からの出席者 (7 名)

氏名	所属
塩崎 充博	総務省 情報流通行政局 放送技術課 技術企画官
五十嵐 徹	総務省 情報流通行政局 放送技術課 国際係長
浜田 泰人	日本放送協会 技術局長
久代 雄一郎	日本放送協会 技術局 計画部 副部長
小浜 昭弘	日本放送協会 技術局 計画部 チーフエンジニア
神原 浩平	日本放送協会 技術局 計画部 専任エンジニア
実井 仁	日本放送協会 放送技術研究所 放送ネットワーク研究部 専任研究員

表 2 入力文書 (全 109 件)

	入力 文書番号	提出元	文書名	審議 (SWG 6A-)	処理 文書番号 (6A/TEMP/)
1	6A/264	Chairman, WP 6A	REPORT OF THE MEETING OF WORKING PARTY 6A (Geneva, 16-24 April 2013)	-	Note
2	6A/264 An.1		LIST OF DOCUMENTS ISSUED (Documents 6A/170 - 6A/262)	-	Note
3	6A/264 An.2		PRELIMINARY DRAFT NEW RECOMMENDATION ITU-R BT.[ETMMPLAN] Planning criteria for terrestrial multimedia broadcasting for mobile reception using handheld receivers in VHF/UHF bands	SWG6A-1	SG 6A/141
4	6A/264 An.3		PRELIMINARY DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R BT.1735 Methods for objective reception quality assessment of digital terrestrial television broadcasting signals of System B specified in Recommendation ITU-R BT.1306	SWG6A-1	Note
5	6A/264 An.4		PRELIMINARY DRAFT REVISION TO RECOMMENDATION ITU-R BT.1368-10 Planning criteria, including protection ratios, for digital terrestrial television services in the VHF/UHF bands	SWG6A-1	SG 6A/140
6	6A/264 An.5		PRELIMINARY DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R BT.1306-6 Error correction, data framing, modulation and emission methods for digital terrestrial television broadcasting	SWG6A-1	C 6A/122
7	6A/264 An.6		PRELIMINARY DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R BT.1871 User requirements for wireless microphones	SWG6A-3	C 6A/133
8	6A/264 An.7		PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R BT.[ASSESS-EXAMPLE] Example of application of Recommendation ITU-R BT.1895 and Report ITU-R BT.2265 to assess interference to the broadcasting service caused by the impact of IMT systems on existing head amplifiers of collective television distribution systems	SWG6A-2	SG 6A/143
9	6A/264 An.8		PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R BT.[ISDBT_RELAY] Construction Technique of DTTB Relay Station Network for ISDB-T	SWG6A-1	SG 6A/121
10	6A/264 An.9		PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R BT.[ASSESSDTTBCRS]	SWG6A-2	C,text 6A/147,1

			Assessment of interference into the broadcasting service from cognitive devices in the frequency band 470-790 MHz		51,138
11	6A/264 An.10		PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R BT.[DTTBSPECREQ] Spectrum requirements for terrestrial television broadcasting in the frequency band 694-790 MHz in Region 1 and the Islamic Republic of Iran	SWG6A-3	L,C 6A/132 6A/131
12	6A/264 An.11		PRELIMINARY DRAFT REVISION OF REPORT ITU-R BT.2252 Objective quality coverage assessment of digital terrestrial television broadcasting signals of Systems A and B	SWG6A-1	6A/120
13	6A/264 An.12		WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW RECOMMENDATION/REPORT [HEAD-AMP] Masthead amplifier reference model to be used for the assessment of interference into the broadcasting service	SWG6A-2	C 6A/146
14	6A/264 An.13		WORKING DOCUMENT TOWARD PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R BT.[DTTBMEASUREMENT] Guidelines on measurements for digital terrestrial television broadcasting systems	SWG6A-1	Note
15	6A/264 An.14		WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R BT.[DTB] Digital terrestrial broadcasting systems	SWG6A-1	SG 6A/127
16	6A/264 An.15		WORKING DOCUMENT TOWARD A PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU R BS.[DSB-TRANSITION] Implementation considerations for the transition to digital terrestrial sound and multimedia broadcasting	SWG6A-1	C 6A/142
17	6A/264 An.16		ESTABLISHMENT OF A RAPPORTEUR ON THE IMPORTANCE OF TERRESTRIAL BROADCASTING IN PROVIDING EMERGENCY INFORMATION TO THE PUBLIC	SWG6A-4	C,L 6A/116 6A/117
18	6A/264 An.17		ESTABLISHMENT OF A RAPPORTEUR GROUP ON MAIN FUNCTIONALITIES OF CONSUMER RECEIVERS FOR WORLDWIDE BROADCASTING ROAMING	SWG6A-1	L,C 6A/115 6A/123
19	6A/264 An.18		ESTABLISHMENT OF A RAPPORTEUR GROUP TO STUDY THE DIGITAL SOUND BROADCASTING SYSTEMS, IMPLEMENTATION CASES, AND TRANSITION POLICIES	SWG6A-1	Note
20	6A/264 An.19		UPDATES TO WORK PLAN FOR STUDIES RELATED TO WRC-12 RESOLUTIONS AND RECOMMENDATIONS	SWG6A-3	Note
21	6A/264 An.20		LIST OF LIAISON STATEMENTS	-	Note
22	6A/264 An.21		LIST OF OUTPUT (TEMP) DOCUMENTS (Documents 6A/TEMP/77 - 6A/TEMP/114)	-	Note
23	6A/265 6B/129 6C/180	ITU-T Joint Coordinati on Activity on Accessibili ty and Human Factors	LIAISON STATEMENT ON NOMINATION OF JCA-AHF REPRESENTATIVES	SWG6A-2	L 6A/118

24	6A/266	Joint Coordinati on Activity on Accessibili ty and Human Factors	LIAISON STATEMENT ON TECHNICAL CHARACTERISTICS OF WIRELESS AIDS FOR HEARING IMPAIRED PEOPLE OPERATING IN THE VHF AND UHF FREQUENCY RANGE (COM 16-LS 14) [TO ITU-R WP 5A AND ITU-T SG 16]	SWG6A-2	L
25	6A/267	Working Party 5B	LIAISON STATEMENT TO THE JCA-AHF (COPY FOR INFORMATION TO ITU-R WPs 1A, 1B, 5A, 5C AND 6A, ITU-T FG-AVA, ITU-T SGs 2 AND 16, ITU-D SGs 1 AND 2 AND ETSI ERM TG 17) Reply liaison statement on draft revision of Recommendation ITU-R M.1076	SWG6A-2	L 6A/118
26	6A/268	Working Parties 5A, 5B and 5C	JOINT LIAISON STATEMENT TO ITU-R WORKING PARTY 1A AND ITU-T STUDY GROUP 15 (COPY TO ITU-R WORKING PARTIES 1C, 5D AND 6A FOR INFORMATION) COEXISTENCE OF WIRED AND WIRELESS COMMUNICATIONS SYSTEMS - FURTHER DEVELOPMENTS ON RECOMMENDATION ITU-T G.FAST	SWG6A-2	L 6A/148
27	6A/269	Working Parties 5A, 5B, and 5C	LIAISON STATEMENT TO ITU-R WORKING PARTY 1A AND ITU-T STUDY GROUP 9 (COPIED FOR INFORMATION TO ITU-T STUDY GROUPS 5 AND 15, AND ITU R WORKING PARTIES 3L, 4C, 5D, 6A, 7C AND 7D) IMPACT FROM WIRED TELECOMMUNICATION (INCLUDING PLT) ON RADIOCOMMUNICATION SYSTEMS	SWG6A-2	L 6A/145
28	6A/270	Working Party 5A	LIAISON STATEMENT TO ITU-R WORKING PARTY 5B, ITU-T STUDY GROUP 16, AND ITU-T JCA-AHF (COPY FOR INFORMATION TO ITU-R WPs 1A, 1B, 5C AND 6A, ITU-T FG-AVA, ITU-T SG 2, ITU-D SGs 1 AND 2, AND ETSI ERM TG 17) DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R M.1076 Wireless communication systems for persons with impaired hearing	SWG6A-2	L 6A/118
29	6A/271	Working Party 5A	LIAISON STATEMENT TO JOINT TASK GROUP 4-5-6-7 (COPY FOR INFORMATION TO WP 4A, WP 4B, WP 4C, WP 5B, WP 5C, WP 5D, WP 6A, WP 7B, WP 7C, WP 7D, WP 1A, WP 3K, WP 3M) REPLY LIAISON STATEMENT ON SPECTRUM REQUIREMENTS FOR TERRESTRIAL MOBILE BROADBAND (EXCLUDING IMT) RELATED TO WRC-15 AGENDA ITEM 1.1	SWG6A-3	Note
30	6A/272	Working Party 1A	LIAISON STATEMENT TO ITU-T STUDY GROUP 9 (COPY TO ITU-R WORKING PARTIES 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C, 7D AND ITU-T STUDY GROUP 5) COEXISTENCE OF WIRED TELECOMMUNICATIONS (INCLUDING PLT) WITH RADIOCOMMUNICATION SYSTEMS - CONSIDERATIONS WITH RESPECT TO WORK ON RECOMMENDATION ITU-T J.195 (J.HINOC-REQ)	SWG6A-2	L 6A/145

31	6A/273	Working Party 1A	LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTIES 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C AND 7D COEXISTENCE OF WIRED TELECOMMUNICATIONS (INCLUDING PLT) WITH RADIOCOMMUNICATION SYSTEMS - STREAMLINING FUTURE COOPERATION WITHIN ITU-R AND LIAISON WITH ITU-T	SWG6A-2	L 6A/148
32	6A/274	Working Party 1A	LIAISON STATEMENT TO ITU-T STUDY GROUP 15 FOR INFORMATION AND ACTION (COPY TO ITU-R WORKING PARTIES 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C AND 7D) COEXISTENCE OF WIRED TELECOMMUNICATIONS (INCLUDING PLT) WITH RADIOCOMMUNICATION SYSTEMS - CONSIDERATIONS WITH RESPECT TO WORK ON RECOMMENDATION ITU-T G.fast	SWG6A-2	L 6A/148
33	6A/275	Working Party 1A	LIAISON STATEMENT TO ITU-T STUDY GROUP 5 (COPY TO ITU-R WORKING PARTIES 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C AND 7D) ACTIVITIES OF ITU-T STUDY GROUP 5 RELATED TO INTERFERENCE BETWEEN RADIO SIGNAL AND DEVICE OR CABLE CONNECTED TO WIRED BROADBAND NETWORKS AND CABLE TELEVISION NETWORKS	SWG6A-2	L 6A/148 6A/145
34	6A/276	Working Party 1A	REPLY LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 6A COMMENT ON RECOMMENDATION ITU-R SM.2028	SWG6A-2	Note
35	6A/277	Working Party 1C	LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 6A RECOMMENDATION ITU-R SM.1875 DVB-T coverage measurements and verification of planning criteria	SWG6A-1	Note
36	6A/278	Working Party 1B	LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTIES 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C AND 7D WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R SM.[WHITE-SPACE] Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for the use of white spaces by radio systems employing cognitive capabilities	SWG6A-2	L 6A/144
37	6A/280	Working Party 3L	LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTIES 5A AND 6A, AND HFCC Revisions to Recommendation ITU-R P.842	SWG6A-1	Note
38	6A/281	Working Party 3L	LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 6A MAPS OF EFFECTIVE GROUND CONDUCTIVITY FOR USE AT MF	SWG6A-1	Text
39	6A/282	Working Parties 3K and 3M	LIAISON STATEMENT TO JOINT TASK GROUP 4-5-6-7 (COPY TO WORKING PARTIES 6A, 5B AND 5D FOR INFORMATION) APPROPRIATE PROPAGATION INFORMATION WHERE A CURRENT RECOMMENDATION MAY NOT SEEM TO BE WHOLLY APPLICABLE	SWG6A-3	C 6A/134
40	6A/283	Working Party 3K	LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 6A (COPY TO JTG 4-5-6-7 FOR INFORMATION) CORRELATION OF SHORT-TERM INTERFERING SIGNALS	SWG6A-3	C 6A/134
41	6A/284	ITU-T Study Group 15	LIAISON STATEMENT ON DETERMINATION OF THE ITU-T G.FAST PSD SPECIFICATION	SWG6A-2	L 6A/148
42	6A/285	WP3L	Liaison statement to ITU-R Study Groups 4, 6 and 7 and	SWG6A-1	Text

			to ITU-T Study Group 5 - The effect on Telecommunications of an extreme solar event		
43	6A/286	Joint Task Group 4-5-6-7	LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 5D (COPY FOR INFORMATION TO WPs 1A AND 6A) ADJACENT BAND COMPATIBILITY BETWEEN THE IMT UPLINK AND DIGITAL TERRESTRIAL TELEVISION (DTT) BROADCASTING UNDER WRC-15 AGENDA ITEM 1.2	SWG6A-3	Note
44	6A/287	Joint Task Group 4-5-6-7	LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTIES 3K AND 3M (COPY TO WORKING PARTIES 6A AND 5D FOR INFORMATION)	SWG6A-3	Text
45	6A/288	Italy , Vatican City State	Possible need to revise handbooks issued by Study Group 6 in the past	SWG6A-1	Note
46	6A/289	Study Group 1	RECOMMENDATION ITU-R SM.1541-5 Unwanted emissions in the out-of-band domain	SWG6A-2	C 6A/150
47	6A/290	Radiocom munication Study Group 1	RECOMMENDATION ITU-R SM.1879-2 The impact of power line high data rate telecommunication systems on radiocommunication systems below 470 MHz	SWG6A-2	L 6A/145,148
48	6A/291	Working Party 7B	LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 4A AND THE SPECIAL COMMITTEE (COPY FOR INFORMATION TO WORKING PARTIES 5A AND 6A) WRC-15 AGENDA ITEM 9.1 (9.1.8)	SWG6A-3	L 6A/137
49	6A/292	ITU-D Study Group 2/Question 22-1/2	LIAISON STATEMENT ON ONGOING COLLABORATION REGARDING THE IMPORTANCE OF BROADCASTING FOR PROVIDING EMERGENCY INFORMATION TO THE PUBLIC	SWG6A-4	C 6A/116 L 6A/117
50	6A/293	High Frequency Co-ordination Conference	THE IMPORTANCE OF TERRESTRIAL RADIO IN INTERNATIONAL BROADCASTING	SWG6A-4	C 6A/116 L 6A/117
51	6A/294	High Frequency Co-ordination Conference	INTERNATIONAL RADIO FOR DISASTER RELIEF (IRDR)	SWG6A-4	C 6A/116 L 6A/117
52	6A/295	ITU-T JCA-AHF	LIAISON STATEMENT ON DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R M.1076	SWG6A-2	L 6A/118
53	6A/296	ITU-T JCA-AHF	LIAISON STATEMENT ON DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R M.1076 " WIRELESS COMMUNICATION SYSTEMS FOR PERSONS WITH IMPAIRED HEARING " (REPLY TO DOCUMENT 5B/110)	SWG6A-2	L 6A/118
54	6A/297	BR Study Group Department	Status of texts	SWG6A-4	Note
55	6A/298	WPs 3K and 3M	Reply liaison statement to Joint Task Group 4-5-6-7 (copy to Working Parties 6A and 5D for information)	SWG6A-3	Text 6A/135
56	6A/299	Telenor	T-DAB SFN channel reference model and FFT time	SWG6A-1	Note

		ASA	window synchronization strategy, for ensuring acceptable SFN receiving performance for mobile T-DAB receivers		
57	6A/300	RG on spectrum requirements	Spectrum requirements for the future of broadcasting	SWG6A-1	Text
58	6A/301	Rapp. on Emergency Broadcasting	Proposed draft new Report on the importance of terrestrial broadcasting in providing emergency information to the public	SWG6A-4	C 6A/116 L 6A/117
59	6A/302	JTG 4-5-6-7	Liaison statement to Working Party 6A - Updated information on SAB/SAP	SWG6A-3	C 6A/133 L 6A/117
60	6A/303	China (People's Republic of)	Proposal of draft revision of Recommendation ITU-R BT.1206-1 - Spectrum limit masks for digital terrestrial television broadcasting	SWG6A-1	C 6A/124
61	6A/304	China (People's Republic of)	Proposal of preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BT.1306-6 - Error-correction, data framing, modulation and emission methods for digital terrestrial television broadcasting	SWG6A-1	C 6A/122
62	6A/305	WP 5D	Liaison statement to Joint Task Group 4-5-6-7 (copy to all concerned Groups under WRC-15 agenda item 1.1 (Working Parties 4A, 4B, 4C, 5A, 5B, 5C, 6A, 7B, 7C, 7D, 3K, 3M, and Working Party 1A)) - Sharing parameters for WRC-15 agenda item 1.1	SWG6A-3	Note
63	6A/306	Russian Federation	Assessment of interference from mobile service networks base stations	SWG6A-3	Text 6A/135
64	6A/307	Russian Federation	Tests of single frequency DRM radio networks in the SW range	SWG6A-1	C 6A/142
65	6A/308	Russian Federation	Compatibility of mobile and broadcasting services in adjacent bands taking into account the outcome of wireless broadband equipment field test in terrestrial TV broadcasting frequency band	SWG6A-3	C 6A/130,1 47,151
66	6A/309	Russian Federation	Proposals for inclusion into preliminary draft new Recommendation ITU-R BT.[ETMMPLAN] - Planning criteria for terrestrial multimedia broadcasting for mobile reception using handheld receivers in VHF/UHF bands	SWG6A-1	C 6A/139
67	6A/310	United States of America	Digital system C performance in Mexico City	SWG6A-1	C 6A/142
68	6A/311	United States of America	Modifications to the Preliminary draft new Report ITU-R BT.[ASSESSDTTBCRS] - Assessment of interference into the broadcasting service from cognitive devices in the frequency band 470-790 MHz	SWG6A-2	C 6A/147,1 51
69	6A/312	United States of America	Proposed revisions to the Working Document towards a Preliminary Draft New Report ITU-R BS.[DSB.TRANSITION] - Implementation considerations for the transition to digital terrestrial sound and multimedia broadcasting	SWG6A-1	C 6A/142
70	6A/313	ITU-T SG 9	Liaison statement on coexistence of wired telecommunications with radiocommunication systems - Consideration with respect to work on Recommendation ITU-T J.195.1 (J.HINOC-REQ)	SWG6A-1	L 6A/145
71	6A/314	Japan	Proposed modifications to preliminary draft revision of	SWG6A-1	C

			Recommendation ITU-R BT.1306-6 - Error correction, data framing, modulation and emission methods for digital terrestrial television broadcasting		6A/122
72	6A/315	Japan	Proposed modifications to a preliminary draft new Recommendation ITU-R BT.[ETMMPLAN] - Planning criteria for terrestrial multimedia broadcasting for mobile reception using handheld receivers in VHF/UHF bands	SWG6A-1	SG 6A/141
73	6A/316	Brazil (Federative Republic of), Japan	Proposed draft new Report ITU-R BT.[ISDBT_RELAY] - Construction Technique of DTTB Relay Station Network for ISDB-T	SWG6A-1	SG 6A/141
74	6A/317	Japan	Proposed draft revision of Recommendation ITU-R BT.1368-10 - Planning criteria, including protection ratios, for digital terrestrial television services in the VHF/UHF bands	SWG6A-1	SG 6A/121
75	6A/318	Zweites Deutsches Fernsehen	Proposal for the creation of an intersector Rapporteur Group on audiovisual media accessibility	SWG6A-4	Note
76	6A/319	Italy , Vatican City State	Support of Document 6A/294 - International radio for disaster relief	SWG6A-4	C 6A/116 L 6A/117
77	6A/320	C.B.S., Inc.	Draft revision of Report ITU-R BT.2247-2 - Field measurement and analysis of compatibility between DTTB and IMT	SWG6A-3	Text 6A/127
78	6A/321	C.B.S., Inc.	Preliminary draft new Report ITU-R BT.[DTB] - Digital terrestrial broadcasting systems .	SWG6A-1	SG 6A/127
79	6A/322	Italy , Vatican City State	Proposed liaison statement from WP 6A to JTG 4-5-6-7 - Technical and operational characteristics of terrestrial television broadcasting for sharing and compatibility studies between the broadcasting service and the mobile service under WRC-15 agenda item 1.1	SWG6A-1	L 6A/128
80	6A/323	Italy , Vatican City State	Comment on draft new Report ITU-R BT.[ASSESSDTTBBCRS] - Assessment of interference into the broadcasting service from cognitive devices in the frequency band 470-790 MHz	SWG6A-2	C 6A/147,1 51
81	6A/324	RG for WRC-15 related studies	Third progress Report - Rapporteur Group to undertake WRC-15 related studies called for by CPM15-1	SWG6A-3	Note 6A/138
82	6A/325	RG for WRC-15 related studies	Progress Report - Questionnaire on spectrum requirements for terrestrial television broadcasting in connection with WRC-15 agenda item 1.2	SWG6A-3	L 6A/131 C 6A/152
83	6A/326	Korea (Republic of)	Proposed draft new Recommendation ITU-R BT.[ETMMPLAN] - Planning criteria for terrestrial multimedia broadcasting for mobile reception using handheld receivers in VHF/UHF bands	SWG6A-1	SG 6A/141
84	6A/327	Rai Way S.p.A.	Preliminary draft new Recommendation - Reference model to be used for the assessment of interference into the broadcasting service in order to take into account non-linearities in the radiofrequency receiving circuit	SWG6A-1	C 6A/146
85	6A/328	Rai Way S.p.A.	Single frequency networks (SFN) design and implementation	SWG6A-1	Note
86	6A/329	Turkey	Response to the WP 6A Questionnaire on spectrum requirements for terrestrial television broadcasting	SWG6A-3	L 6A/131 C

					6A/132
87	6A/330	Italy , Vatican City State	Proposal for the establishment of a Rapporteur Group on "Design and implementation of single frequency networks (SFN)"	SWG6A-1	Note 6A/125
88	6A/331	United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland	Proposed liaison statement to JTG 4-5-6-7 from WP 6A - User requirements for wireless microphones in Region 1	SWG6A-3	Note
89	6A/332	United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland	Proposed liaison statement to JOINT TASK GROUP 4-5-6-7 - Technical characteristics and other technical issues for terrestrial television broadcasting in connection with WRC-15 agenda item 1.2	SWG6A-1	Text
90	6A/333	United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland	Error extension mechanisms in DTT broadcast systems relevant to the study of interference using Monte Carlo simulations	SWG6A-1	C 6A/129
91	6A/334	United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland	Measurements and analysis of DVB-T2 protection ratios and adjacent channel selectivity from interference of mobile broadband terminals operating in adjacent spectrum	SWG6A-1	C 6A/130
92	6A/335	Norddeutscher Rundfunk (NDR) , Zweites Deutsches Fernsehen	Summation of the power of three LTE transmitters in a suburban region - A practical study	SWG6A-3	Text 6A/135
93	6A/336	SG 6 Rapp. on PLT Issues	Report on recent developments concerning PLT and wired telecommunication systems	SWG6A-2	L 6A/148,145
94	6A/337	Broadcast Networks Europe	MCL footprint	SWG6A-3	Text 6A/135
95	6A/338	Broadcast Networks Europe	IMT UE to DTTB interference assessment based on real world examples	SWG6A-3	Text 6A/135
96	6A/339	Broadcast Networks Europe	Monte Carlo simulations: Requirement for information on changes of state in an IMT network	SWG6A-1	Text
97	6A/340	European Broadcasting Union	Proposed update of Report ITU-R BT. 2254 - Frequency and network planning aspects of DVB-T2	SWG6A-1	SG 6A/126
98	6A/341	European Broadcasting	Description of time elements for consideration in IMT to DTTB compatibility calculations	SWG6A-1	Text

		ng Union			
99	6A/342	Broadcast Networks Europe	Issues related to DTTB protection from IMT UE interference in the Joint Task Group 4-5-6-7 studies	SWG6A-3	Text
100	6A/343	Canada	Modifications to the preliminary draft new Report ITU-R BT.[ASSESSDTTBCRS] - Assessment of interference into the broadcasting service from cognitive devices in the frequency band 470-790 MHz	SWG6A-2	C 6A/147,1 51
101	6A/344	Telecommunications Regulatory Authority, Lebanon	Proposed revision of working document towards a preliminary draft new Report ITU-R BT.[DTB] - Digital terrestrial broadcasting systems	SWG6A-1	SG 6A/127
102	6A/345	Telecommunications Regulatory Authority, Lebanon	Draft Questionnaire on MVDS use in digital terrestrial broadcasting systems	SWG6A-1	SG 6A/127
103	6A/346	Telecommunications Regulatory Authority, Lebanon	The role of TV and radio broadcasting providing emergency communications to the public	SWG6A-4	C 6A/116 L 6A/117
104	6A/347	Germany (Federal Republic of)	Field report on the applied methodology used by Germany to protect the broadcast service when implementing the IMT service in the 800 MHz band	SWG6A-3	C 6A/136
105	6A/348	Germany (Federal Republic of)	Information on applied principles to protect the broadcast service in neighbouring countries when introducing the IMT service in the 800 MHz band	SWG6A-3	C 6A/136
106	6A/349	Norddeutscher Rundfunk (NDR), Zweites Deutsches Fernsehen	General description of interference into a DTT receiver	SWG6A-3	C 6A/129
107	6A/350	RG on DSB	Working document toward a preliminary draft new Report ITU-R BS.[DSB-TRANSITION] - Implementation considerations for the transition to digital terrestrial sound and multimedia broadcasting	SWG6A-1	C 6A/142
108	6A/351	RG on WBR	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R BT.[R.WBR] - Main functionalities of consumer receivers for worldwide broadcasting roaming	SWG6A-1	L 6A/115 C 6a/123
109	6A/352	RG for Development of DTB Report	Preliminary draft new Report ITU-R BT.[DTB] - Digital terrestrial broadcasting systems	SWG6A-1	SG 6A/127

(注) Note: 情報として取り扱った文書、C: 議長報告に添付、L: リエゾン文書送付、SG: SG6 に送付、Text: 議長報告本文に文章を記載

表3 出力文書一覧 (全 37 件)

	出力文書 番号 (6A/ TEMP/)	文書名	審議 (SWG 6A-)	入力文書 番号 (6A/)	処理 (Annex)
1	6A/115	Liaison statement to Working Party 6B - Preparation of preliminary draft new Recommendation on main functionalities of consumer receivers for worldwide broadcasting roaming	SWG6A-1	6A/264/An17, 6A/351	L
2	6A/116	Preliminary draft new Report ITU-R BT.[EMBC] - The importance of terrestrial broadcasting in providing emergency information to the public	SWG6A-4	6A/264/An16, 6A/292, 6A/293, 6A/294, 6A/301, 6A/319, 6A/346	C
3	6A/117	Liaison statement to the Director of the Radiocommunication Bureau and to the RAG - Natural and "man-made" disasters - The role of the terrestrial broadcasting service	SWG6A-4	6A/264An16, 6A/292, 6A/293, 6A/294, 6A/301, 6A/319, 6A/346	SG
4	6A/118	Liaison statement to the ITU-T Joint Coordination Activity on Accessibility and Human Factors (JCA-AHF) Task Group	SWG6A-2	6A/265, 6A/266, 6A/267, 6A/270, 6A/295, 6A/296,	L
5	6A/119	Draft revision of Recommendation ITU-R BT.1735 - Methods for objective reception quality assessment of digital terrestrial television broadcasting signals of System B specified in Recommendation ITU-R BT.1306	SWG6A-1	6A/264/An3	SG
6	6A/120	Draft revision of Report ITU-R BT.2252 - Objective quality coverage assessment of digital terrestrial television broadcasting signals of Systems A and B	SWG6A-1	6A/264/An11	SG
7	6A/121	Draft new Report ITU-R BT.[ISDBT_RELAY] - Construction technique of DTTB relay station network for ISDB-T	SWG6A-1	6A/364/An8, 6A/316	SG
8	6A/122	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BT.1306-6 - Error correction, data framing, modulation and emission methods for digital terrestrial television broadcasting	SWG6A-1	6A/364/An5, 6A/304, 6A/314	C
9	6A/123	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R BT.[R-WBR] - Main functionalities of consumer receivers for worldwide broadcasting roaming	SWG6A-1	6A/264/An17, 6A/351	C
10	6A/124	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BT.1206-1 - Spectrum limit masks for digital terrestrial television broadcasting	SWG6A-1	6A/303	C
11	6A/125	Establishment of a Rapporteur Group on "Design and implementation of single frequency networks (SFN)"	SWG6A-1	6A/330	RG設置
12	6A/126	Draft revision of Report ITU-R BT.2254 - Frequency and network planning aspects of DVB-T2	SWG6A-1	6A/340	SG
13	6A/127	Draft new Report ITU-R BT.[DTB] - Digital terrestrial broadcasting systems	SWG6A-1	6A/264/An14, 6A/344, 6A/345, 6A/321, 6A/352	SG
14	6A/128	Liaison statement to Joint Task Group 4-5-6-7 - Technical and operational characteristics of terrestrial television broadcasting for sharing and compatibility studies between the broadcasting service and the mobile service under WRC-15 agenda tem 1.1	SWG6A-1	6A/332	L
15	6A/129	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R	SWG6A-1	6A/333, 6A349	C

		BT.[INTERFERENCEDESCRIPTION] - General description of interference into a DTT receiver			
16	6A/130	Working document toward a preliminary draft revision of Report ITU-R BT.2215 - Measurements of protection ratios and overload thresholds for broadcast TV receivers	SWG6A-1	6A/308, 6A/334	C
17	6A/131	Draft liaison statement to JTG 4-5-6-7 on spectrum requirements for terrestrial television broadcasting in the frequency band 694-790 MHz in Region 1 and the Islamic Republic of Iran	SWG6A-3	6A/264/An10, 6A/325, 6A/329	L
18	6A/132	Preliminary draft new Report ITU-R BT.[DTTBSPECREQ] - Spectrum requirements for terrestrial television broadcasting in the frequency band 694-790 MHz in Region 1 and the Islamic Republic of Iran	SWG6A-3	264/An10, 6A/325, 6A/329	C
19	6A/133	Annex YY to Working Party 6A Chairman's Report - Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BT.1871 - User requirements for wireless microphones	SWG6A-3	6A/264/An6, 6A/302, 6A/331	C
20	6A/134	Preliminary draft revision to Report ITU-R BT.2265 - Guidelines for the assessment of interference into the broadcasting service	SWG6A-3	6A/198, 6A/282, 6A/283	C
21	6A/135	Text for the Chairman's Report of WP 6A	SWG6A-3	6A/287, 6A/298, 6A/306, 6A/320, 6A/335, 6A/337, 6A/338, 6A/339, 6A/341, 6A/342	Text
22	6A/136	Working document towards a preliminary draft new Report [FIELD_REPORTS_IMT] - National field reports on the introduction of IMT In the bands with co-primary allocation to the broadcasting and the mobile services	SWG6A-3	6A/347, 6A/348	C
23	6A/137	Proposed draft liaison statement to WP 7B - Frequency bands used for nano-satellite and pico-satellite systems	SWG6A-3	6A/291	L
24	6A/138	[Draft] - Updates to work plan for studies within Working Party 6A and related to WRC-12 Resolutions and Recommendations	SWG6A-3	6A/264/An9, 6A/324	Note
25	6A/139	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BT.[ETMMPLAN] - Planning criteria for terrestrial multimedia broadcasting for mobile reception using handheld receivers in VHF/UHF bands	SWG6A-1	6A/309	C
26	6A/140	Draft revision of Recommendation ITU-R BT.1368-10 - Planning criteria, including protection ratios, for digital terrestrial television services in the VHF/UHF bands	SWG6A-1	6A/264/An4, 6A/231	SG
27	6A/141	Draft new Recommendation ITU-R BT.[ETMMPLAN] - Planning criteria for terrestrial multimedia broadcasting for mobile reception using handheld receivers in VHF/UHF bands	SWG6A-1	6A/264/An2, 6A/315, 6A/326	SG
28	6A/142	Working document toward a preliminary draft new Report ITU-R BS.[DSB-TRANSITION] - Implementation considerations for the transition to digital terrestrial sound and multimedia broadcasting	SWG6A-1	6A/264/An15, 6A/307, 6A/310, 6A/312, 6A/350	SG
29	6A/143	Draft new Report ITU-R BT.[ASSESS-EXAMPLE] - Example of application of Recommendation ITU-R BT.1895 and Report ITU-R BT.2265 to assess interference to the broadcasting service caused by the impact of IMT systems on existing head amplifiers of collective television distribution systems	SWG6A-2	6A/264/An7	SG
30	6A/144	Liaison statement to Working Party 1B - Studies towards a preliminary draft new Report ITU-R BT.[CRS_BS_BANDS]	SWG6A-2	6A/278	L
31	6A/145	Liaison statement to Working Party 1A and ITU-T Study Groups 9 and 5 (and for information to ITU-R Working Parties 5A, 5B,	SWG6A-2	6A/269, 6A/272,	L

		5C and 5D) - Coexistence of wired telecommunications with radiocommunication systems - Considerations with respect to work on Recommendation ITU-T J.195.1 (J.HINOC-REQ)		6A/275, 6A/290, 6A/313, 6A/336	
32	6A/146	Preliminary draft new Report ITU-R BT.[ACTIVE DEVICE MODEL] - Reference model to be used for the assessment of interference into the television broadcasting service in order to take into account non-linearity in the television radio frequency receiving system	SWG6A-2	6A/264/An12, 6A/327	C
33	6A/147	Liaison statement to the CCV and Working Party 1B - Definition of the term "White space" and related terms in ITU-R	SWG6A-2	6A/264/An9, 6A/308, 6A/311, 6A/323, 6A/343	L
34	6A/148	Liaison statement to Working Party 1A and ITU-T Study Group 15 (and for information to ITU-R Working Parties 5A, 5B and 5C) - Considerations on wired telecommunication systems being developed under G.FAST	SWG6A	6A/268, 6A/273, 6A/274, 6A/275, 6A/284, 6A/290, 6A/336	L
35	6A/149R 1	Draft liaison statement to Joint Task Group 4-5-6-7 - Quality of service parameters for digital television broadcasting for use in the JTG 4-5-6-7 studies	SWG6A	6A/332, 6A/333, 6A/339, 6A/341, 6A/342, 6A/349	Text
36	6A/150	Contribution to Working Party 6A Chairman's Report - Draft liaison statement to Study Group 1 and Working Party 1A concerning Recommendation ITU-R SM.1541-5 (copy to WPs 4A, 4B, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 7B, 7C, 7D, 3K, 3M and JTG 4-5-6-7)	SWG6A-2	6A/289	C
37	6A/151	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R BT.[CRS_BS_BANDS] - Compatibility issues and national approaches related to introduction of cognitive radio systems within frequency bands used by terrestrial broadcasting services	SWG6A-2	6A/264/An9, 6A/308, 6A/311, 6A/323, 6A/343	C

(注) C: 議長報告に添付、L: リエゾン文書送付、SG: SG6 に送付、Text: 議長報告本文に文章を記載、Note: 情報として取り扱った文書